



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成29年3月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成28年12月	平成29年3月	前回調査比
茨城県	47.3	47.7	+0.4
県北地域	50.0	46.4	△3.6
県央地域	47.8	48.3	+0.5
鹿行地域	45.2	50.0	+4.8
県南地域	49.2	48.3	△0.9
県西地域	44.4	45.3	+0.9

《景気の先行き判断DI》

	平成28年12月	平成29年3月	前回調査比
茨城県	46.7	50.3	+3.6
県北地域	43.4	48.2	+4.8
県央地域	46.6	56.4	+9.8
鹿行地域	46.9	52.2	+5.3
県南地域	48.8	50.0	+1.2
県西地域	47.8	44.4	△3.4

平成29年4月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	20
3	その他の意見	28

問い合わせ先

茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、太子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	288 人	96.0%
県北地域	60 人	55 人	91.7%
県央地域	60 人	59 人	98.3%
鹿行地域	60 人	56 人	93.3%
県南地域	60 人	60 人	100.0%
県西地域	60 人	58 人	96.7%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

5 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成29年3月調査の調査期間は、平成29年3月1日から平成29年3月31日である。

6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

Ⅱ 調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは47.7となった。平成28年12月の調査（以下、「前回調査」という。）より0.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を12期連続で下回った。

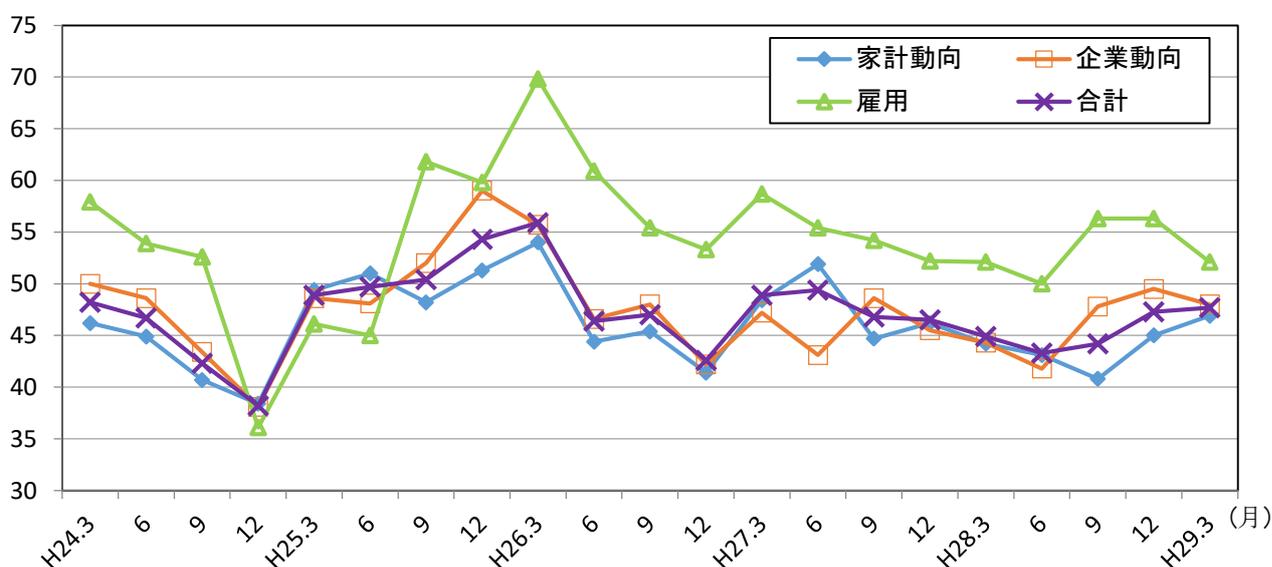
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月				
	平成28年 3月	平成28年 6月	平成28年 9月	平成28年 12月	平成29年 3月
合計	44.9	43.3	44.2	47.3	47.7
家計動向関連	44.2	43.1	40.8	45.0	46.9
小売関連	40.7	39.8	39.6	43.1	47.1
飲食関連	40.2	44.8	37.5	46.9	48.9
サービス関連	46.6	44.2	42.0	45.9	45.4
住宅関連	55.6	52.8	47.2	47.2	52.8
企業動向関連	44.3	41.8	47.8	49.5	48.0
農林水産業	43.8	50.0	43.8	50.0	37.5
製造業	43.9	37.2	46.4	50.5	46.3
非製造業	45.0	46.4	50.7	47.9	52.9
雇用関連	52.1	50.0	56.3	56.3	52.1

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成28年 3月	0.4%	17.7%	50.2%	24.7%	7.0%
平成28年 6月	0.7%	14.7%	50.0%	26.2%	8.4%
平成28年 9月	1.7%	13.7%	51.5%	25.8%	7.2%
平成28年12月	2.4%	17.6%	53.1%	20.7%	6.2%
平成29年 3月	2.1%	17.0%	53.8%	23.6%	3.5%

(DI) 図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3 か月先の景気の先行き判断DIは50.3 となった。前回調査より3.6ポイント上昇し50.3 となり、横ばいを表す50を7期ぶりに上回った。

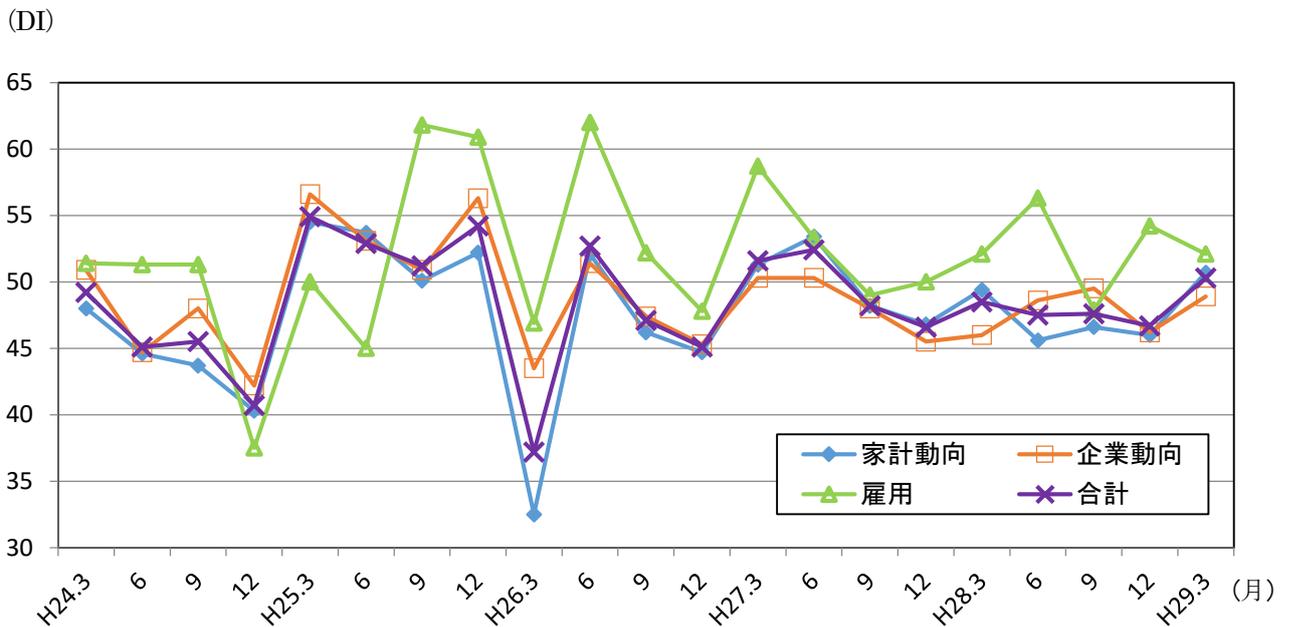
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	平成28年 3月	平成28年 6月	平成28年 9月	平成28年 12月	平成29年 3月
合計		48.5	47.5	47.6	46.7	50.3
家計動向関連		49.4	45.6	46.6	46.0	50.7
小売関連		47.2	43.4	45.4	48.2	47.1
飲食関連		45.7	51.0	56.3	42.7	59.1
サービス関連		51.7	45.8	44.9	44.2	51.6
住宅関連		52.8	44.4	44.4	52.8	50.0
企業動向関連		46.0	48.6	49.5	46.2	48.9
農林水産業		46.9	56.3	43.8	31.3	50.0
製造業		48.9	49.5	49.0	45.8	49.5
非製造業		42.1	45.7	51.4	50.0	47.8
雇用関連		52.1	56.3	47.9	54.2	52.1

表1-4 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成28年 3月	0.7%	18.5%	59.8%	16.2%	4.8%
平成28年 6月	1.8%	17.9%	54.7%	19.6%	6.0%
平成28年 9月	1.4%	19.2%	54.6%	17.9%	6.9%
平成28年12月	0.7%	17.2%	56.9%	18.6%	6.6%
平成29年 3月	1.7%	20.8%	57.6%	16.3%	3.5%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1) 景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは46.4となった。前回調査より3.6ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成28年	平成28年	平成29年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		44.9	42.7	42.5	50.0	46.4
	家計動向関連	42.2	39.3	34.6	45.6	44.5
	企業動向関連	47.2	47.4	53.9	56.6	50.0
	雇用関連	56.3	50.0	56.3	56.3	43.8

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 3月	1.9%	16.7%	51.9%	18.5%	11.1%
平成28年 6月	0.0%	20.7%	41.4%	25.9%	12.1%
平成28年 9月	1.8%	17.5%	38.6%	33.3%	8.8%
平成28年12月	0.0%	28.1%	47.4%	21.1%	3.5%
平成29年 3月	0.0%	16.4%	58.2%	20.0%	5.5%

② 県央地域

景気の現状判断DIは48.3となった。前回調査より0.5ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成28年	平成28年	平成29年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		43.0	40.9	50.0	47.8	48.3
	家計動向関連	42.4	42.6	45.5	44.6	46.7
	企業動向関連	39.1	34.4	57.8	48.4	50.0
	雇用関連	60.0	50.0	60.0	70.0	55.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 3月	0.0%	17.5%	45.6%	28.1%	8.8%
平成28年 6月	1.7%	8.6%	50.0%	31.0%	8.6%
平成28年 9月	6.7%	15.0%	55.0%	18.3%	5.0%
平成28年12月	3.4%	15.5%	56.9%	17.2%	6.9%
平成29年 3月	1.7%	23.7%	42.4%	30.5%	1.7%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは50.0となった。前回調査より4.8ポイント上昇し、横ばいを表す50となった。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年 3月	平成28年 6月	平成28年 9月	平成28年 12月	平成29年 3月
合計		45.8	46.1	42.1	45.2	50.0
	家計動向関連	48.4	47.7	41.9	44.1	51.5
	企業動向関連	41.7	42.1	40.3	44.4	48.5
	雇用関連	45.0	50.0	50.0	55.0	45.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 3月	0.0%	18.5%	51.9%	24.1%	5.6%
平成28年 6月	1.8%	7.0%	66.7%	22.8%	1.8%
平成28年 9月	0.0%	12.3%	54.4%	22.8%	10.5%
平成28年12月	1.8%	8.8%	63.2%	21.1%	5.3%
平成29年 3月	1.8%	16.1%	62.5%	19.6%	0.0%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは48.3となった。前回調査より0.9ポイント低下し、横ばいを表す50を5期連続で下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年 3月	平成28年 6月	平成28年 9月	平成28年 12月	平成29年 3月
合計		47.7	48.3	43.8	49.2	48.3
	家計動向関連	47.5	48.5	39.6	50.7	48.6
	企業動向関連	48.7	47.4	47.4	44.7	47.4
	雇用関連	45.0	50.0	60.0	55.0	50.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 3月	0.0%	20.4%	51.9%	25.9%	1.9%
平成28年 6月	0.0%	24.1%	50.0%	20.7%	5.2%
平成28年 9月	0.0%	8.3%	63.3%	23.3%	5.0%
平成28年12月	3.3%	16.7%	58.3%	16.7%	5.0%
平成29年 3月	1.7%	13.3%	61.7%	23.3%	0.0%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは45.3となった。前回調査より0.9ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を12期連続で下回った。

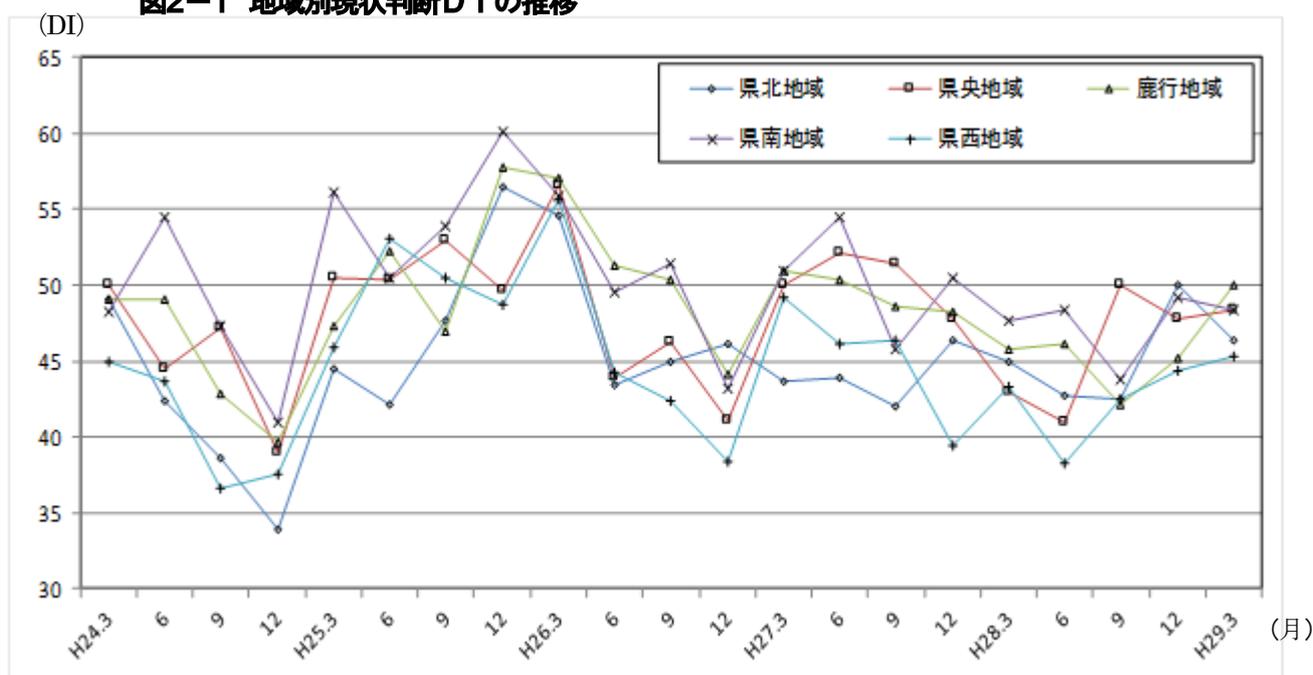
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成28年	平成28年	平成29年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		43.3	38.2	42.5	44.4	45.3
家計動向関連		40.8	37.1	41.7	39.7	42.9
企業動向関連		44.1	36.8	40.8	52.6	44.4
雇用関連		55.0	50.0	55.0	45.0	65.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 3月	0.0%	15.4%	50.0%	26.9%	7.7%
平成28年 6月	0.0%	12.7%	41.8%	30.9%	14.5%
平成28年 9月	0.0%	15.8%	45.6%	31.6%	7.0%
平成28年 12月	3.4%	19.0%	39.7%	27.6%	10.3%
平成29年 3月	5.2%	15.5%	44.8%	24.1%	10.3%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	24.03	24.06	24.09	24.12	25.03	25.06	25.09	25.12	26.03	26.06	26.09	26.12	27.03	27.06	27.09	27.12	28.03	28.06	28.09	28.12	29.3
県全体	48.2	46.7	42.3	38.2	48.9	49.7	50.4	54.3	55.9	46.4	47.0	42.6	48.9	49.4	46.8	46.5	44.9	43.3	44.2	47.3	47.7
県北	49.1	42.4	38.6	33.9	44.5	42.1	47.7	56.4	54.6	43.4	45.0	46.1	43.6	43.9	42.0	46.3	44.9	42.7	42.5	50.0	46.4
県央	50.0	44.5	47.2	38.9	50.5	50.4	52.9	49.6	56.5	43.9	46.2	41.1	50.0	52.1	51.4	47.8	43.0	40.9	50.0	47.8	48.3
鹿行	49.1	49.1	42.8	39.7	47.3	52.2	46.9	57.7	57.0	51.3	50.4	44.1	50.9	50.4	48.6	48.2	45.8	46.1	42.1	45.2	50.0
県南	48.2	54.4	47.3	41.0	56.1	50.5	53.9	60.1	55.9	49.5	51.4	43.6	50.9	54.5	45.8	50.5	47.7	48.3	43.8	49.2	48.3
県西	44.9	43.6	36.6	37.5	45.9	53.0	50.5	48.7	55.6	44.2	42.4	38.4	49.2	46.1	46.4	39.4	43.3	38.2	42.5	44.4	45.3
全国	51.8	43.8	41.2	45.8	57.3	53.0	52.8	55.7	57.9	47.7	47.4	45.2	52.2	51.0	47.5	48.7	45.4	41.2	44.8	51.2	50.6(原数値)
																				51.4	47.4(季節調整値)

(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

景気の先行き判断DIは48.2となった。前回調査より4.8ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成28年	平成28年	平成29年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		43.1	46.1	48.7	43.4	48.2
	家計動向関連	43.0	41.4	47.8	44.1	47.7
	企業動向関連	44.4	51.3	52.6	43.4	47.4
	雇用関連	37.5	62.5	37.5	37.5	56.3

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 3月	0.0%	18.5%	42.6%	31.5%	7.4%
平成28年 6月	0.0%	22.4%	51.7%	13.8%	12.1%
平成28年 9月	3.5%	21.1%	50.9%	15.8%	8.8%
平成28年 12月	0.0%	12.3%	57.9%	21.1%	8.8%
平成29年 3月	0.0%	16.4%	63.6%	16.4%	3.6%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは56.4となった。前回調査より9.8ポイント上昇し、横ばいを表す50を3期ぶりに上回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成28年	平成28年	平成29年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		51.3	53.9	49.2	46.6	56.4
	家計動向関連	50.7	51.4	45.5	43.9	58.6
	企業動向関連	51.6	59.4	57.8	46.9	53.1
	雇用関連	55.0	55.0	50.0	65.0	50.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 3月	3.5%	15.8%	68.4%	7.0%	5.3%
平成28年 6月	6.9%	22.4%	53.4%	13.8%	3.4%
平成28年 9月	3.3%	20.0%	51.7%	20.0%	5.0%
平成28年 12月	0.0%	17.2%	60.3%	13.8%	8.6%
平成29年 3月	1.7%	33.9%	52.5%	11.9%	0.0%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは52.2となった。前回調査より5.3ポイント上昇し、横ばいを表す50を7期ぶりに上回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年 3月	平成28年 6月	平成28年 9月	平成28年 12月	平成29年 3月
	合計		48.1	46.4	49.6	46.9
	家計動向関連	50.8	47.7	50.0	44.9	52.2
	企業動向関連	43.1	40.8	48.6	50.0	54.4
	雇用関連	50.0	50.0	50.0	50.0	45.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 3月	0.0%	11.1%	74.1%	11.1%	3.7%
平成28年 6月	0.0%	12.5%	62.5%	23.2%	1.8%
平成28年 9月	0.0%	15.8%	71.9%	7.0%	5.3%
平成28年12月	0.0%	12.3%	66.7%	17.5%	3.5%
平成29年 3月	3.6%	16.1%	66.1%	14.3%	0.0%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは50.0となった。前回調査より1.2ポイント上昇し、横ばいを表す50となった。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年 3月	平成28年 6月	平成28年 9月	平成28年 12月	平成29年 3月
	合計		49.1	48.7	47.5	48.8
	家計動向関連	50.0	45.6	46.5	51.4	52.1
	企業動向関連	46.1	51.3	50.0	42.1	46.1
	雇用関連	55.0	60.0	45.0	55.0	50.0

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 3月	0.0%	20.4%	61.1%	13.0%	5.6%
平成28年 6月	1.7%	19.0%	53.4%	24.1%	1.7%
平成28年 9月	0.0%	18.3%	56.7%	21.7%	3.3%
平成28年12月	1.7%	20.0%	56.7%	15.0%	6.7%
平成29年 3月	1.7%	20.0%	56.7%	20.0%	1.7%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは44.4となった。前回調査より3.4ポイント低下し、横ばいを表す50を4期連続で下回った。

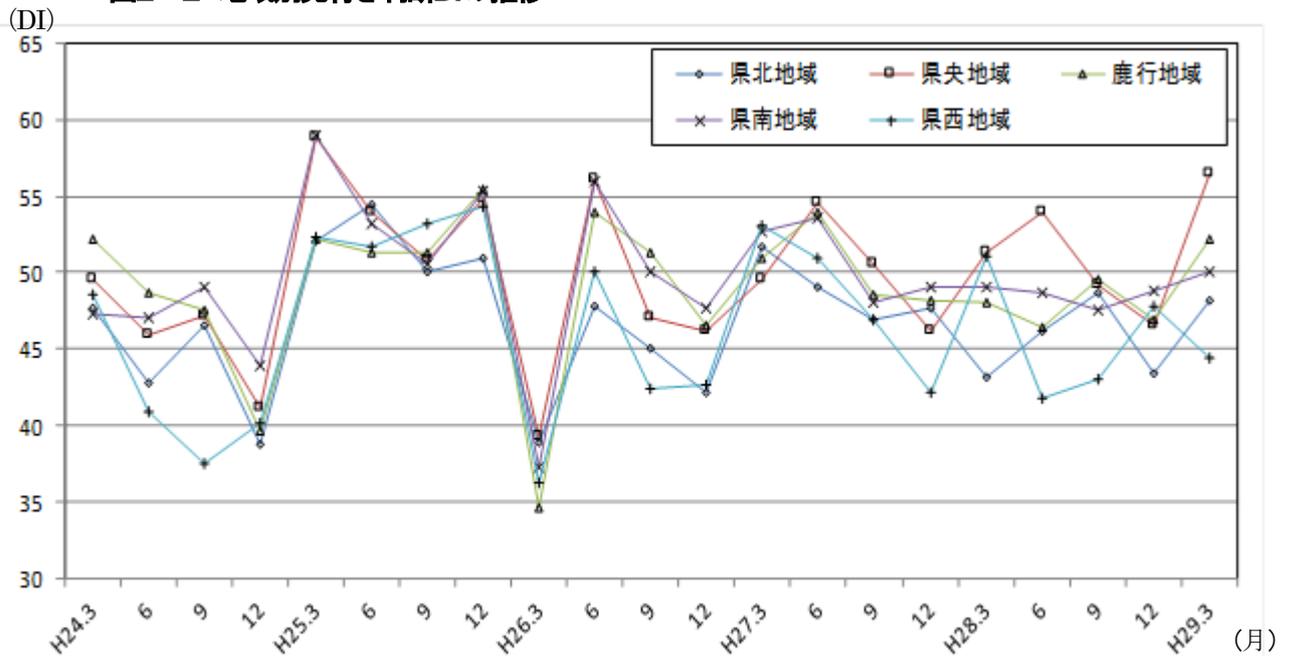
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成28年	平成28年	平成29年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		51.0	41.8	43.0	47.8	44.4
家計動向関連		52.5	39.5	43.2	45.6	42.1
企業動向関連		45.6	42.1	39.5	48.7	44.4
雇用関連		60.0	55.0	55.0	60.0	60.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 3月	0.0%	26.9%	51.9%	19.2%	1.9%
平成28年 6月	0.0%	12.7%	52.7%	23.6%	10.9%
平成28年 9月	0.0%	21.1%	42.1%	24.6%	12.3%
平成28年 12月	1.7%	24.1%	43.1%	25.9%	5.2%
平成29年 3月	1.7%	17.2%	50.0%	19.0%	12.1%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



	24.03	24.06	24.09	24.12	25.03	25.06	25.09	25.12	26.03	26.06	26.09	26.12	27.03	27.06	27.09	27.12	28.03	28.06	28.09	28.12	28.12
県全体	49.1	45.1	45.5	40.7	54.9	52.9	51.2	54.2	37.1	52.7	47.1	45.1	51.6	52.4	48.2	46.6	48.5	47.5	47.6	46.7	50.3
県北	47.7	42.8	46.6	38.8	52.0	54.4	50.0	50.9	38.9	47.8	45.0	42.1	51.7	49.1	46.9	47.7	43.1	46.1	48.7	43.4	48.2
県央	49.5	45.9	47.2	41.2	58.8	53.9	50.8	54.8	38.9	56.1	47.0	46.2	49.6	54.6	50.5	46.1	51.3	53.9	49.2	46.6	56.4
鹿行	52.2	48.7	47.5	39.7	52.2	51.3	51.3	55.5	34.6	53.9	51.3	46.6	50.9	53.9	48.6	48.2	48.1	46.4	49.6	46.9	52.2
県南	47.3	47.1	49.1	43.9	59.0	53.2	50.5	55.3	37.2	56.0	50.0	48.2	52.7	53.6	48.1	49.1	49.1	48.7	47.5	48.8	50.0
県西	48.6	40.9	37.5	40.1	52.3	51.7	53.2	54.3	36.2	50.0	42.4	42.7	53.0	50.9	46.9	42.1	51.0	41.8	43.0	47.8	44.4
全国	49.7	45.7	43.5	51.0	57.5	53.6	54.2	54.2	34.7	53.3	48.7	46.7	53.4	53.5	49.1	48.2	46.7	41.5	48.5	49.0 50.9	49.0(原数値) 48.1(季節調整値)

《調査期間前後の主な出来事》

- 1/21 トランプ氏が第45代アメリカ大統領に就任
- 1/22 稀勢の里 14勝1敗で初優勝。1/25：横綱昇進，3/26：3月場所で劇的な逆転優勝
- 2/17～19 エンジン01文化戦略会議オープンカレッジin水戸 開催
- 2/24 プレミアムフライデー初回
- 2/26 圏央道，県内区間全面供用開始。東名・中央・関越・東北・常磐・東関東自動車道の6つの高速道路が圏央道で結ばれる。
- 2/28 西武筑波店閉店
- 3/18 水戸駅南口に水戸オーパ開業
- 4/ 3 本県県北を舞台とした，NHK連続テレビ小説「ひよっこ」放送開始

III 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	外部環境の変化により客数は減少傾向にあるが客単価が前年比100%以上を達しているため。
		小売業（燃料）	前年比販売数量10%増加している。
		小売業（時計）	あくまでもややであるが，客数が伸びている。
		食堂	卒業，入学で家族が出かけることが多くなり，食事でも…と，春に向かって会話も楽しそうです。
		観光型ホテル	1月2日は，北茨城名物のあんこう鍋が雑誌やTVでとりあげられ多くのお客様に来ていただいている。
		写真店	件数の枠を広げ，受入れを広くした。セットやコレクション商品販売を強化した。
	企業	製造業（電気機械器具）	生産数量増により，多少良し。
		運輸業	貨物の輸送依頼，若しくは見積り依頼が増えている。
		運輸附帯サービス業	昇降機のリニューアルが増えているので，施設投資できるようになってきていると思う。また，中途採用する会社の話題が多くなったように感じる。
変わらない	家計	コンビニエンスストア	客数は各店舗で大きな変化はない。店舗近隣の事業所でも大きな変化はありません。
		衣料品販売店	売上数は減少しているが，良い商品（価格が高い）が売れている。
		農産物直売所	土産品が売れない。昨年と比べると，買わなくなっているような気がする。
		小売業（弁当・惣菜店）	昨年時の売上げは横ばいというか，わずかなマイナスになった。収益は維持できているのがよかったが，今後の不安も残る。
		小売業（水産物）	客数が伸びない。客単価が上がらない。
		スナック	お客様の休日の行動をお聞きして，あまりお金を使わないようにして思った。
		観光型ホテル	昨年同期と比較して，売上げはほぼ横ばい。宿泊が減っている分，日帰りの売上げが好調で，差し引きゼロという状況。
		旅行代理店	当月，3か月前を前年と比較しても，どちらの月も変わらない。
		ドライブイン	3か月前より，平均客単価は減少しているが，買上げ点数は増えている。天気によって左右することが多いが，平均して変わらない。（偶数月は，年金支給日でもあり，少し伸びるかも。平日は特にご高齢の方が多く利用いただいている。）
		レジャー施設	各施設の利用者及び売上げが，ほぼ前年並である。
		ゴルフ場	オリンピック期待の建設会社も忙しくなく，何も変わらないとのこと。県北ゴルフ場に関しては，入場者，売上げが下がりすぎ。
		ゴルフ場	予約状況が前年同期比で横ばい。
		ゴルフ場	お客様の動向が変わるような変化は見受けられない。
		ボウリング場	団体で利用されるお客様の予約は，一定数いただいているものの，一般の利用客数については，3か月前と比較しても大きな伸びが見られない。
住宅販売会社	やや円安方向に動いているが，一進一退を繰り返しており，先の状況が読めない。		

変 わ ら な い	企業	水産業関係者	事由なし。
		製造業（食料品）	自社の売上げは12月比では増加しているが、業界全体としては依然前年割れが続いている。前年割れの度合いは改善しつつあるが、まだ前年越えまでには至らない。
		製造業（電気機械器具）	作業時間に変動がない。
		製造業（電気機械器具）	前年と特に変わった傾向は見られません。
		製造業（電気機械器具）	官庁等の年度末の関係で、足元の仕事量は相当増えた。ただ、一時的なものである。
		製造業（一般機械器具）	事業所に来場される顧客の数に変動が少ない。
		製造業（輸送用機械器具）	2月トランプ米大統領就任により大幅な為替変動が想定されたが、現在まで大きな変化が表れずにいる。しかし、長期的にどのような変化が出てくるのか見極めが必要である。今、各カーメーカーは低燃費はさることながら安全性を重視した車の開発によって差別化をPRし購買意欲を盛り立てているが、国内販売の大きな変化は見られない。中国、米国は依然好調の様子。
		製造業（精密機器）	関西の図面が、見積りとして出てきている。
		製造業（精密機器）	数量も横ばいで変わりはない。
		建設業	お客様や取引先の話からさほど変化はない。
		金融業	日立製作所の創業地であるも、2009年ごろからの組織改革により、三菱重工業が火力発電システム事業を統合して発足した三菱日立パワーシステムズは三菱重工業が主導。基幹工場の社員は新会社の傘下となり転籍等もあり人口流出の一因となっている。また、市内業者は日立製作所からの受注依存度が高く、組織改変により受注は低調に推移しており、先行き不透明な状況が継続。不動産業者の出足も鈍い。日立製作所関連企業の売却等の話がある中、中小零細企業は今後の動向に不安視している。
	不動産業	集客や契約数の伸びがない。	
	情報通信業（情報サービス業）	年度末で商談は増えているが、時期的なもので、特に変化は感じられない。	
雇 用	公共職業安定所	新規求人数及び有効求人数とも対前年同期比で増加しているが、その増加率は前回報告と比べると鈍化した。業種別では、「医療・福祉」、「サービス業」、「運輸業・郵便業」で求人が増えている。	
	学校就業関係者	特に判断する材料が見当たらなかった。	
	求人開拓員	職種での違いがあるようにも感じますが、概ね「あまり変わらないね」という意見が多く感じられます。工業団地の誘致は少し良いように感じます。目立つのは工業団地内の跡地等への太陽光パネルの設置は多くなっています。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	売上げの、今月の前年比と3か月前の前年比を比べると、今月の前年比の方がやや落ちている。
		商店街代表者	年度末を迎えて活発な物の動き、人の動きを期待していたが全く期待外れ。週間の夜を除いて昼間の商店街の人通りは良くなっていない。
		スーパー	他のスーパーのチラシ特売日の火曜日・金曜日に客数が減った。
		自動車販売店	対前年で考えると、お客様の来店も多く、契約台数も増えたが、今月に入り、動きが止まってきた。（前年のこの時期と比べると）
		小売業（酒類）	近隣に大型店（スーパーマーケット）があり、年々来店客数が減少してる。飲食店経営者の高齢化にともない、廃業するところが増えている。
		タクシー運転手	日立市内の大手企業が業績が悪くなっているため、人員整理の話なども聞こえてくるのが現状。
		タクシー運転手	今月3月は人事の異動や離任が多い月で、つきものの送別会等があり、そしてタクシー利用があり、売上げが多くなる月であります。しかし、今月の特徴的な点は、その期待すべき送別会等時のタクシー利用の回数が少なくなっている。また、20km以上の遠距離客も減少している等で、例年より、売上げ減少となっており、「やや悪くなっている」を選択した。
企業	林業関係者	状況が変わらないため、現状維持がやっと。	
	製造業（食料品）	地元スーパーに納品しているが先方のバイヤーは安いものを仕入れに取り入れているため売上げが減少している。	
	製造業（化学工業）	生活に直結する飲食向けの出荷ペースが落ちている。同業他社の状況を聞いても動きが悪いという話。	
	求人広告	特に個人店など予算規模の小さい企業・店舗は年末から年明けにかけて厳しいように感じる。	
悪	家計	中国料理店	3か月前は忘年会の時期であったため、とても景気が良かったが、今月はディナータイムの時間帯の来客がとて少ない。送別会なども歓迎会と一緒に行う方も、多くなっているようです。
		タクシー運転手	夜間のお客様がいない。

(2) 県央地域 【現状】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業(精密機械器具)	売上げベースで22%程度アップしています。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	高齢者の利用は増えているが、店舗の売上げ、客数に大きな変化はない。その一方で、ネット通販商品の店頭受取、代金支払い件数は毎月増加していることから、消費全体は良くなっていると思います。
		コンビニエンスストア	気温上昇もありますが、お客様の来店も増加しております。来店数も増えておりますので消費も増えると考えます。
		旅行代理店	トランプ大統領の就任により、一時は米国旅行を控えていた方が多くいましたが、思った程の政策転嫁はなく米国行き旅行者も戻りつつある。
		タクシー会社	12月頃より県外のお客様ご利用が増加している。極端な増加は見られないが対前年比でも増加傾向にあり、3か月前と比較しても良い傾向が続いている。
		ドライブイン	梅まつり期間中ということもあり、前年同時期と比べても、客数、売上げ等がアップしています。千波湖の鳥インフルも心配しましたが、影響もそれほどない。
		レジャー施設	県外からの来館者(県外ナンバー)が祝祭日は多く感じられる。高速道路を利用した人の流れが3月になり偕楽園・ひたち海浜公園など「アウトドア・春の花」を求めて人の動きとして当館にも影響が考えられる。景気が良くなっていると期待感が含まれる判断です。寒暖の差・地震もあり、不安もあるが手ぶらで帰る方より、お土産を持ち帰る方が多く見られる。
		建築設計事務所	年明けは「今年は動き出しが遅い」「いつもと違う」との会話がよくあったが、気温の上昇とともにゆっくりではあるが動き出しが始まった感がある。
	住宅販売会社	土地の動きが良くなり、建築意欲が高まっている。	
	企業	製造業(印刷・同関連業)	徐々にではあるが受注件数が増えている。
		不動産業	時期的に引っ越しシーズンということもあり、問合せが増加傾向にある。
		サービス業(広告業)	年度末の広告予算をカットせずに使い切るケースがほとんどだった。例年だと、数社から予算カットの話がでて、新年度まで発注を見送る場合があった。
	サービス業(コンサル/小業)	仕事の受注が増えている。	
	雇用	公共職業安定所	平成29年2月に実施した(188社)業況調査によると、好調6%、やや好調10%、普通49%、全体で65%を占めている。
		求人開拓員	新規求職者・再来館者ともに減少傾向にあります。一見、景気が上昇しているように見えます。採用全体の中(自センター)で占める割合は、正規社員は45%と伸び悩みです。依然として非正規雇用が多い。雇用も先行き不安から、非正規雇用の採用が多いのか。
変わらない	家計	商店街代表者	変化ありません。
		商店街代表者	毎年、1月は初売りセールを行っており、あまり芳しくなかった。今年の1月の来店客数、売上げとも例年の約2割減であった。しかし、2月は約2割アップで比較的忙しかった。3月に入って、ダウンしているので3月の後半に期待する。
		百貨店	前回より引き続き慎重なお買物の仕方をしている。衝動買いのようなことは少なく、良く考えて購入にふみきるといったかんじ。
		スーパー	為替の影響などにより、食品相場の値上げが多く、消費者の節約意識が高まってきている。
		スーパー	客数・売上げが前年並みで推移している。
		スーパー	理由は分からないが、3か月前の売上げが悪すぎた。売上げは元のレベルに戻っただけで、まだ増加にまでは至っていない。
		自動車販売店	前年市場と比較して、ほとんど変化がありません。
		農産物直売所	嗜好品のお買い上げや飲食(レストラン)のご利用が横ばい傾向である。
		楽器販売	ほぼ横ばいな状態が続いている。
		レストラン	宴会申込み数や人数、予算など、3か月前とほぼ横ばいである。
		レストラン	卒業祝いや歓送迎会時期で利用は増えてきているが、客単価も例年同様である。またフリーゲストの動きもそれほど変わっていない。
		都市型ホテル	変化が見られない。
		観光型ホテル	一般団体の需要が相変わらず弱いため平日の集客に影響が出ているが個人客は堅調な動きをしている。
		旅行会社	ツアーなど、お客様の申込みは少なくツアー催行にならないものが多く、バスの稼働が少ない。
タクシー会社	水戸市エンジン01やプレミアムフライデー発足等期待していた割には、売上げに効果が見られなかった。		
ゲームセンター	来店数、売上げ共に大きな変化はみられませんでした。プレミアムフライデーイベントも開催しましたが、15時から18時の来店数に変化はみられませんでした。		
ペット美容室	これからの暖かくなる時期から仕事の回転率がよくなると思います。		

変わらない	企業	製造業(食料品)	販売金額の推移をみても景気の上向き感はない。	
		製造業(金属製品)	仕事の量は相変わらず少ない。内製率を高めてやりくりしている状況です。材料の価格は上昇しているにもかかわらず、受注単価は低下傾向にある。	
		金融業	総体的には売上高に若干の改善は見られるものの、収益面においては横ばいの印象であり、依然として運転資金及び設備投資の資金需要においても、慎重な判断を要していることから景況感の改善はないと思われます。	
		情報通信業(情報サービス業)	商談は、年度末を迎えての一時的なものもあるが、次年度以降に亘って継続すると思われる案件も出て来ており、顧客の様子からも、景気回復の兆しは感じられた。しかし、商談成約に至るまでには、競合や価格面において厳しい環境が続いており、弊社における景況感は横ばいであった。	
雇用	人材派遣業	売上げも特に変わらず。		
	学校就業関係者	企業の人事担当者との情報交換の中で3か月前と変わったとの情報は聞けていない。		
やや悪くなっている	家計	百貨店	3か月前は歳暮、クリスマス商戦が活発であった。3月も卒業、入学に関する商品、春物プロパー商品の需要が伸びると思われるが、3か月前に比べ、客単価が伸び悩んでいる。	
		スーパー	買上げの品数が少なくなっているようだ。余計なものは買わないと思っている人が増えている。	
		スーパー	今年に入ってから来店客数が減少し、購入点数も若干減っている。	
		小売業	11月と2月の売上げを年度別で比較した場合、今年度の下落率が過去最高で高い。これは、中国人を中心とした訪問外国人の当空港ビルにおける購入額の大幅な減によるものではなく、国内線を利用する日本人の購買自体が減ってきているのが原因と思慮される。	
		都市型ホテル	全体の予約状況で対前年を大きく下回っている。この先も昨年比較で下回っており回復の兆しもない。	
		タクシー運転手	タクシー業界では異動の時期は大変繁忙期にあたるが、先月の前年比と3か月前(12月)の前年比を比べると先月の伸び率が悪くなっているため、景気はやや悪くなっていると判断する。	
		観光名所	本来梅の開花に合わせて、イベントシーズンに入り、来館者数が普段の月より多くなることが予想されるが、今年に限ってはお客様の数が少ないように思われます。観光として足は運ぶけれど、購買にはあまりつながっていません。景気が良くなっているとは感じられません。	
		ゴルフ場	降雪等の影響により来場者数が前年対比で343名減少、冬期間の特別優待により客単価も併せて減少している。	
		スーパー銭湯	今冬は比較的雨が少なく、週末に天気がよすぎてしまったことが館内レジャー施設としてはあまりよくない状況となってしまった。イベント開催などで前年並になりましたが、報道等で言われているお金を使わない状況は感じられるところがあります。	
		レジャー施設	契約者が減少傾向にある。	
		理・美容店	6月頃に比べると気候のせいはまだ寒いので、来客が少ない。	
		企業	農業関係者	農家は農閑期であり農産物の出荷も少ないため、収入が少ない。
			製造業(食料品)	受注数が減少している。
			製造業(印刷・同関連業)	売上げが昨年と比べ、減少に転じている。
製造業(窯業・土石製品)	受注量が減っている。			
製造業(一般機械器具)	昨年8月より、毎月前年を下まわっている。			
運輸業(道路貨物運送業)	年度末の割に貨物の動きが良くない。			
雇用	求人広告	求人誌の掲載広告数が減ってる。		
悪	家計	割烹料理店	2月是我々の業種はというと、1年の中で1番売上げが落ちる時期でもあります。いたしかないのかなど…。	

(3) 鹿行地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	観光名所	コメント
良	家計	製造業(食料品)	発送数量が伸びている。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	昨年のアントラーズの神がかり的な活躍があり、その効果も含めて観光客が増加している中で、個店によっては好況に浴しているところもある。
		家電販売店	月半ばのため断定はできないが、前年比が向上し、客単価も若干向上している。
		洋食食堂	客数、売上げともに前年をクリアしています。特に平日のランチタイム、土・日・祭日は来店客数が増えています。
		タクシー運転手	送別会等が増えているようです。
		ドライブイン	陽気が良くなるにつれて行楽客が増加してきている。
		理・美容店	客単価の高い特別メニューを期間限定で提供したところ、予約が予想以上でした。
		クリーニング店	卒業式や衣替えの時期のあるので例年通りである。
企業	農業関係者	消費者の購買意欲もやや持ち直してきていると考えられるため、生活必需品としての薬物類の青果物は、現在は、安定した価格で販売ができていると思われます。	
雇用	学校就職関係者	学生に対する求人が同時期に比べ増加している。	

変 わ ら な い	家計	スーパー	売上高が横ばい。高齢化による買上げ点数の減少を、客数の微増により、どうか売上高横ばいを保っている。
		スーパー	客数に変化がみられない。
		コンビニエンスストア	依然として値ごろ感ある商品の動向が良く、高価な商品の動きは鈍い状況。
		衣料品販売店	来店数が同じように思われる
		農産物直売所	集客率が変わらない。
		小売業（菓子類）	3か月前の対前年比売上げ（前年より良い）とほぼ対前年比売上げが同じ。（昨年同時期よりは良い）
		小売業（食品）	今月の入り同業者の倒産の知らせがあった。負債は調査中で、今後変動する可能性があるなど、多額の負債が見込まれるようだ。申告の時期に当たり自社としては昨年並の申告額で黒字であった。健康で一日一日働けたことが良かったと思う。
		小売業	悪くなっている感じはないが、かといって、良くなっているとは言えない。
		小売業（書店）	スマホ普及、ネット時代で本離れが多くみられる。
		和食レストラン	顧客の財布の紐は依然として固く、変化はない。国際情勢等も不安定であり、一般市民まで好景気の実感はないというのが本音である。
		割烹料理店	送別会など、異動による宴会の席が増える時期で、忙しくはなると思うが低予算のため、売上げが良くなるかどうか。
		日本料理店	昨年、大手企業で事故があり、自粛のため予約がキャンセルになりました。今月は、節句等があり、週末は予約が入っているが、平日はお客様の足運びが悪い日がある。
		観光型ホテル	予約状況など3か月前と変わらないと思う。
		タクシー運転手	去年12月の忘年会シーズンは他の月と収入は変わりませんでした。その流れで今まで来ています。稼ぐために時間を長くやっても仕事がありません。お客からよく「忙しいですか」と聞かれますが…。従って今月も変わりません。
		タクシー運転手	毎回「変わらない」としているが、正直な感じでは、ギリ貧で仕事も薄く（少なく）なっている。
		ゴルフ場	客単価が減少傾向にある。
		理・美容店	売上げの伸びは見えず、横ばいといった感じです。
		住宅販売会社	集客数は改善傾向に向かいつつあるが、まだ良い状況とは言えない。
		住宅販売会社	特に変化はない。
		企業	製造業（食料品）
製造業（食料品）	昨年からの原料高騰が続いている。		
製造業（金属製品）	受入、出荷ともに変わらない。		
建設業	受注に関して、それほど伸びは、ないように思います。		
建設業	地元工務店の仕事とれないです。ハウスメーカー、不動産を扱う建築屋さんには仕事を多受注されます。		
運輸業（道路貨物運送業）	昨年度の年末と動きは変わらない。相対的に仕事量は減っている。緊急対応だけが多いのではないかと。		
金融業	取引先である中小企業及び小規模事業所においては、売上げは前年同月比横ばいで推移している先が多く、年度末ということも考慮しても景気に変化はないと思われる。		
保険業	申告の話を聞いているとあまり変化がない。		
不動産業	何も変化が見られない。		
火力発電所	出荷量に変動がない。		
雇用	人材派遣業	景況感はやや良くなっているように見えるものの降雪の状況で生鮮食料品などが高騰しているようで日常生活に直撃しているとの事。年度末に入り決算対策もあるのか出荷がさらに増加傾向にある。	
	公共職業安定所	求人数は前年比増加しており、求職者数は前年比減少傾向で推移。求職者数の減少が有効求人倍率の上昇している一因となっている。	
やや悪く	家計	スーパー	客数や客単価に落ち込みが見られる。買上点数は上がっているが、安いものを多く買う傾向が強くなっている。
		コンビニエンスストア	お客様でそんなに大量に買う人が減ってきた。
		小売業（薬品店）	地元企業は、業績があまり良くない上に、税金が上がって給与は減少気味である。自然と購買意欲が下がってきているのが判る。
		観光型ホテル	通年同時期、同団体が来館していただけるが、各団体人数の減少がある。
		レジャー施設	昨年の同時期と比較しても、12月～3月の客単価、客数ともに落ち込みが大きい。

やや悪くなっている	企業	製造業（食料品）	三陸被災地（津波）の工場数社の復活により、製品供給量増大に伴う、需給バランスの崩れから、端末販売価格競争が激化して価格低下となっている。
		製造業（電気機械器具）	やや受注が減少している。
		内装工事業	取引先がまず良くならなければ私のような零細商店は消えて行く。景気の良いときで、あまり努力しなくても、そこそこ仕事はあったが、世の中が不景気になると、いくら営業で歩いてもお客が閑古鳥なので売上げなんか伸びはしない。
		サービス業	例年、年明けから年度末にかけて駆け込み依頼が増加するが、今年は出足が遅く様子見をされている感が強い。
	雇用	民間職業紹介業	相変わらず求職者（登録者）の確保に難があり、企業の求人ニーズに応えることができない。
求人開拓員		年初めの頃はそうでもなかったが、最近求人開拓にお伺いすると特に食品の製造・加工の業種が人員が、思うように集まらず困っているとのこと。年齢を引き上げたり、未経験でもかまわない等の条件の緩和もするが成果が上がらない様子である。このような状況が続いているとのこと。	
悪	-	-	-

(4) 県南地域 【現状】

(-：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	タクシー運転手	不景気という言葉を目にする機会が減った。
やや良くなっている	家計	スーパー	客単価と買上げ点数は上昇していて、今後も続く見通しです。
		日本料理店	1月より稀勢の里の横綱優賞より、牛久市、竜ヶ崎市、その他県外からのお客が増えているような気がします。
		住宅設計販売	1～3月は、賃貸業務が多忙。
	企業	製造業(非鉄金属)	受注状況、良好。
		建設業	12月は年末なので仕事量が多いのだが、それほどではなかった。今月は年度末なので仕事量が多いのが当然だが、それを差し引いても、民間個人の発注などもあり、仕事量が倍増している。よって、景気はやや良くなっていると判断する。
		運輸業(倉庫業)	食品関連の保管が増え荷動きが良くなっている。
	雇用	人材派遣業	IOT関連企業からの受注が増えてきている。
		求人開拓員	1月27日に就職面接会を行ったが、前回より求職者が少ないのに、採用者は多かった。前回求職者46名、採用者3名。今回求職者39名、採用者4名。
変わらない	家計	スーパー	売上げ、客数とも横ばい状態。
		百貨店、総合スーパー	客数、客単価、売上げ等からも大きな変化はない。
		コンビニエンスストア	買上げ単価に大きな変動は見られない。
		コンビニエンスストア	お客様の買い物の様子が特に変化ないと感じる。
		家電販売店	価格で選ぶお客様が多く、性能が良い商品、新製品の物販が少ない。
		農産物直売所	特に変わった事はなく通常通りなので書くこともない。
		小売業(食品・酒類)	過疎地区であるため低水準で推移している。
		小売業(生花店)	中心街地への出店がほとんどなく、今後も期待できない。
		専門スーパー	客数、客単価に変動がなく安定しているからです。
		小売業(米穀)	自店だけを見ると、この三か月（H28.12月、H29.1月2月）は過去にないぐらい非常に悪かったです。ですが、結び付きの飲食店では、値上げをしたのに売上げ（来店数）が上がっているお店が一店舗です。他は、良くない（対前年比で）ので3.5ぐらいでしょうかね。
		和食食堂	シーズンによって売上げも変わる。2月は風（天候）が悪かったので、客数は少なかった。
和食食堂	要因が特にない。		
洋食食堂	前年比売上げが変わらず。小さなレストランなので、季節の特別な要因が店にとって売上げが伸びますので、それ以外での現状であまり取り上げることができません。		

変わらない	家計	都市型ホテル	3か月前と比較するとあまり変化が見えない。自社としては、競合他社の出店で3か月前より厳しいが、業界的にはあまり景気の変化が見られないと思います。
		旅行代理店	春のシーズンに向けて問合せはあるものの、料金面でなかなかまとまらない。
		タクシー運転手	お客様がそのように言っていた。
		タクシー運転手	乗車回数（顧客利用）が横ばい状況。アフター5の人通りが横ばい。事業所のチケット利用が横ばい。
		タクシー会社	乗車回数の増加が見られない。法人関係のチケット利用の増加が見られない。
		サービスエリア	昨年12月及び本年1月は、売上げ及び交通量とも前年対比で順調に推移していたが、2月になって一部低迷した店舗もあった。これは、2月は昨年が日数で1日多く、今年は祝日が土曜日に重なったため、店舗によってバラツキが生じたことから景気動向の判断は難しいと思われた。商業施設への入館者数が若干下がっているのは気になるところだが、お客様の購買意欲は相変わらず高い率を示していることから、特段の景気の変化はないと判断した。
		ゴルフ場	来客数の予定見込み数との差異が少ない。したがって、お客様は大きな景気変動はないと思える。
		ゴルフ場	3か月前は12月、年末でそれなりに活気があった。1～2月は低迷したが、春の到来により、予約等にも活気もどりは始めている。
		レジャー施設	当施設への来場者数は2月下旬以降増加傾向にあるが、おそらく2月中旬に実施したビッグイベントの結果であり、景気動向による変動ではないとみられる。
		理・美容店	だいたいのお客様が定期的に特別変わった事をするでもなく、それほどの変化は感じられないと思う。
理・美容店	世の中が変わりがない。		
変わらない	企業	農業関係者	3月期（初旬まで）の来客数・客単価を今年度12月期～と比較すると両者ともに減少傾向。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
		製造業（食料品）	燃料費等も変わらず。物価も落ち着いていて景気はここ数か月間、良くも悪くもなっていないようです。
		製造業（金属製品）	毎月受注している種類の多少の変化はありますが、全体的な売上げは変わらないようです。
		製造業（食料品）	客数や客単価が変わらない。
		製造業（飲料）	変化はなかった。
		製造業（印刷業）	特に来店者数や、1件当たりの金額が上がっていない。
		製造業（一般機械器具）	これといった変化がなかった。
		建設業	私自身の身の回りについては、ほとんど変わりはないです。私の仕事量、取引先との関連には全て問題はありません。
		建設業	茨城においてのアパート新築工事が飽和状態になりつつある。元請けも営業先を県外に広げる事を検討している。3か月前と比較する限りでは、受注量に変わりはない。
		金融業	全体的に各業種における業況は特段の変化は感じられない。新規事業所等の開業、進出も大きな動きはなく、不動産の売買も多少の事例はあるものの、物件自体の動きは鈍い。企業の設備投資の需要も少なく、3か月前と比較しても、大きな変化は見受けられない。
雇用	不動産業	昨年同時期の業績との比較により。	
	公共職業安定所	新規・有効求人倍率ともにほぼ横ばいで推移していることから、景気の動向はあまり変化は感じられない。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	昨年がAPITAさんの閉店で買い物難民が多かったが、3か月前はその跡地にスーパーがオープンしたため売上げを落としたが、それより伸び率が悪くなっている。
		寿司店	天候も不安定で、客足が悪いです。1月、2月の売上げを計算したところですが、あきらかに昨年より、3割近く落ちています。総合的にみて、悪くなっているように思われます。
		都市型ホテル	宴会、レストランの利用において客単価が下がっており、宿泊の予約もやや減少している。
		タクシー運転手	近くの工業団地内の大手会社が閉鎖してしまい、仕事量はかなり減っている。
		工場見学案内	見学来場者によるギフトショップの売上げが2016年10～12月は前年比100%に対し、2017年1～2月は93%と激減。ギフトショップの売上げは見学来場者数に概ね比例するが、特に2017年1～2月は旅行代理店経由の団体客の大幅減（前年比76%）に起因しており、逆に直接申込みの個人客はむしろ増加（前年比104%）している。すなわち、工場見学自体は無料であるが、ツアー代金を払う団体客減、交通費負担のみの個人客増という構図からも3か月前と比較し直近の景気が悪くなっていると推察される。
		ボウリング場	お正月の営業状況からして春休みのファミリー層の来場頻度に不安。
		住宅販売会社	前回から状況が好転しておらず、相変わらず競合に苦戦している。
企業	農業関係者	JAとしての事業利用で感じます。費用をかけたくないので今まで使用していた生産資材の減少が目立って来ました。	
	製造業（家具・装備品）	来客の多くは、外国製品をを求める傾向です。良質の品をを求めるお客はおりませんが、数が少ないです。売れる品数は多いですが、売上金額は下っております。	
	製造業（窯業・土石製品）	公共工事が年度末を迎えておりますが、来年度への持越しが多くあり、活気が見られない。	
	製造業（窯業・土石製品）	全体の発注量も少なくなってきた。	

やや悪	雇用	求人広告	年間のトレンドでは最も採用に力を入れる時期だが、今年は消極的な企業が多いように見られる。
		学校就職関係者	委託先が潰れそうだという話を耳にしたり、学費を支払うのが厳しいという声をよく聞かため。
悪	-	-	-

(5) 県西地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	衣料品販売店	小・中学校の新入学や進学での買い替えなどが増える。
	企業	タクシー運転手	定期送迎便の増加などがあるため、工場の稼働が増えている気がする。
やや良くなっている	家計	製造業（化学工業）	例年3月は一部業界で年度末需要が増える。
		専門スーパー	高額品の動向が良くなり客単価も上がった。
		和食レストラン	去年、リニューアルオープンしたことから、売上げが少し伸び、客単価も少しずつ上がった。でも、夜のお客様の動きが少ないため、フリーのお客様の来店伸びが、少し悪いので、やや良くなっていると判断させていただきました。
		ドライブイン	圏央道の茨城県内全線開通により、来場者数が徐々にあるが増えてきており、やや明るさが見えてきたような気がします。
		ゴルフ場	圏央道の開通もあり、予約動向も良い。値上げにもかかわらず、昨年比較で予約が好調である。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	おかげさまで3か月前と単純に比較するならば、3か月前が最悪でしたのでよくなっています。しかし、私は良くなるとは予想しませんでした。思った以上に、発注をいただきありがたいが、納期が悪い仕事ばかりで、量がある程度あって納期にいくらか余裕のある仕事もほしいと思います。
		不動産業	高額物件の動きが良くなってきている。
	雇用	求人広告	お客様から今後の採用予定の話聞く機会が多くなった。今までは採用を控えるなどネガティブな話が多かったので、以前と比べると状況は良くなったと感じている。
		公共職業安定所	久しぶりに求人を出したいという相談が増えている。
		求人開拓員	求職者の数は減っているが、求人数は増えている。「仕事の量は増えているが人がいなくて回らない」との声が多い。仕事に就いている方が多くなったため、景気向上を感じる。
変わらない	家計	商店街代表者	特に客数増加もなし。売上げは低下している。
		商店街代表者	良くなる条件がなかったように思う。
		スーパー	商品単価が微減に対して、買上点数微増、客単価は変わっていないのが現状。
		コンビニエンスストア	客数、売上げ共に前年並を推移している。
		自動車販売店	新型車の効果あまりない。
		農産物直売所	特別に、良い要因、悪い要因がない。
		メガネ・時計販売店	
		和食食堂	売上げや御来店いただくお客様の数等、3か月前とほぼ同じです。
		和食食堂	ここ数年、客単価が横ばい状態なので、今月の前年比と3か月前の前年比を比べても変わらない。
		飲食業	年度末の業界もあるところから期待はしていますが、確証はありません。
	都市型ホテル	昨年と比べてみても、あまり変化は見られません。宴会は、単価、客数ともに大きな変化は見られないが、レストランの客足が少し鈍くなっています。	
	ドライブイン	平日に関しては繁忙期以外に大きなお客様の動きが感じられない。	
	ゴルフ場	予約状況にて。	
	理・美容店	可もなく不可もなくという印象。	
	商店街代表者	3か月前後で分かるほど景気の上下はないと思う。	
	住宅販売会社	集客に苦戦している。来店数が増えない。	
	雇用	製造業（食料品）	ずっと前年比と変わらない程度の売上げで推移し、得意先の仕入数も横ばいで、ほぼ変わらない。
		製造業（印刷・同関連業）	年度末の時期なので、3か月前と比較すると仕事の量は増えている。しかし、前年比では変わらない。
		製造業（印刷・同関連業）	特に目立つ変化は感じられない。注文は相変わらず少量化している。少しでも出費を抑えようとしているのか、少量の見積り依頼が目立つ。結果として割高になるのはわかっているはずで、従来通りになるケースもあるが、やはり先行きに対する不安があるようだ。
		製造業（電気機械器具）	受注量増による増員要請は継続しており、事業所全体でも若干人員に不足感がある。
建設業		現状維持という感じでしょうか。年度末なので、バタバタ感はありますが、景気が良くなっている感はあまりない。	
金融業		土木建築業や医療関係等の一部の企業では景気上向きの兆しが見られるが、その他の業種については依然として業績回復が見られず、売上げも昨年並みの企業が多い。	
人材派遣業		取引先からの求人の話がありません。	
	学校就職関係者	求人における初任給は上がってきているが、生活必需品は値上がりしているため、変わらないと思われる。	

やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	前年と比較すると悪化している店舗が多く、他のエリアと相対的に比べても良くないため、やや悪くなっていると感じられます。また、改善する動きも見られず、楽観はできない状態です。
		家電販売店	購入単価の低下。購入点数の低下。
		旅行会社	昨年度は全般的に動きが悪い。学校の進級、進学による、個人の消費はあると思いますが、厳しい話ばかり聞かれます。
		旅行代理店	燃料費が高くなってきた。120円/ℓを超えている。(ガソリンの場合)軽油も同様に値上げになってます。つくば西武が閉店してなった。筑西市内メイン通りもシャッターが閉まっているお店が多く目立ちます。
		タクシー運転手	売上げの伸び悩み。
		ゲームセンター	来館するお客様数は多少増加傾向にあるものの、それ以上に単価(客単価)は、減少傾向にある。娯楽に対して、必要最低限の消費だけに留めている傾向があるように思われる。
		レジャー施設	人の流れや消費動向もかなり良くないと思う。飲食の方も昼の単価が安い時間は入るが夜のディナーになると極端に出入りが少なくなっている。
	企業	農業関係者	貯金残高の前年対比で落ちている。また、購買品の需要も少なくなっているように思える。
		農業関係者	昨年は青果物価格高騰したが、今年に入ってから平均並かやや下落している現状である。また収入、年金支給額の引き下げ等から、依然として預金残高が上がらないのが現状。なのでやや下向きかなと思われる。
		製造業(印刷・同関連業)	1月、2月は年始の休日も含めて、稼働日が少なく、また、2月最後の金曜日よりの「プレミアム・フライデー」もあり、ますます労働時間が少なくなっていく。政府は、消費拡大を目指しているようだが、地方の零細企業にとっては、労働時間の短縮はインフレどころか、ますますデフレが進む要因になる。
製造業(窯業・土石製品)		繁忙期に入る時期だが、受注量の増加が少ない。	
製造業(金属製品)		2月以降発注の小ロット化が目立つ。新規発注品の引き合いもあるが、海外生産品とのコスト比較にすぎない感がある。	
悪くなっている	家計	製造業(一般機械器具)	取引先で従来提携していた会社との提携解消をしたため、売上げの減少につながり、当社もその影響がある。また、もう一社、設計から加工までを受注している取引先が、大手の当社との同業者が仕事量が薄いため、そちらに仕事が流れている。
		スーパー	精肉部を例に挙げれば、牛肉は生産量の不足から高騰、高いもの(上物)が売れない、買わない、やむを得ず安いもので競合店と勝負、加えて家計の味方の鶏肉はブラジル騒動のあおりで低迷。お客様は必要なもの、必要な分しか買ってくれない。プラス一品がないのが現状です。店全体に同じようなことを感じています。
		製茶販売	収入が減った。野菜等物価が上がったまま下がらない、どこかで節約しないと…。という訳で来店が減っている。悪循環が続いている。
		タクシー会社	前回調査より悪くなっている。タクシー利用者が激減、収入も大幅減、景気も良くならない。
		タクシー運転手	タクシー利用のお客様減少が続いている。さらに深夜等の利用客もますます減少傾向にあり、景気回復の兆しもない。
	企業	クリーニング店	安売りの時には人が多く、通常の時は人は少ない。まだまだ景気が良いとは言えない。
		製造業(食料品)	受注数が減っている。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	-	-	-	
やや良	家計	小売業（時計）	ひな祭り開催中ですが、中・高年の方々の出足は順調のようです。	
		スナック	暖かくなると外に出る機会も増えて、つつい外食や、買い物がしたくなると思う。	
		中国料理店	お客様の単価が下がっているわけでもないのに、3か月先は、外食してくれる方が増えるように、願いの意味でやや良くなっていると思います。	
		食堂	コンビニを見ると、一番よく分かります。今までおにぎり2個にお茶の人が、単価600円もするお弁当を買っています。ボーナスを当てにして後が皆様引き締めと思う。	
	企業	製造業（電気機械器具）	2017年上記、下記とも多少の生産増の見通しとなる。	
		運輸業	貨物の輸送依頼、若しくは見積り依頼が増えている。	
	雇用	求人開拓員	年度替わり等から少し募集を考えてみたいと発言する企業も数社ありますので、そう感じます。同時にその募集の内が高齢者対象の仕事での募集も考えていただける企業様も数社あります。	
	変わらない	コンビニエンスストア	コンビニエンスストア	客単価前年比100%超は変わらないと思うため。
			コンビニエンスストア	近隣の事業所などでは特に変化なし。今後の客数予測としても大きなプラス要因がない。
		衣料品販売店	相変わらず来客数が少ない。	
小売業（弁当・惣菜店）		近隣の企業の話では扱うもの、取引企業に依っての景気の格差が激しいとのこと。いいところはそれなりにいいが、悪いところは本当に悪いとのこと。好景気企業の早期の反映が望まれる。		
小売業（燃料）		さらなる販売増になるほど具体的な要素はない。		
小売業（水産物）		安価な食材は良く売れるが、高価な食材はあまり売れない。		
観光型ホテル		昨年と比較して、予約状況は宿泊、日帰りともにほぼ横ばい。大きなイベント等もないことから、景気は変わらないと判断する。		
旅行代理店		3か月後の予約状況は例年と変化ない。		
タクシー運転手		今月が「やや悪くなっている」で終わりそうなので、3か月先が普通に達成できれば「良くなっている」と相対的になるが、これまでのパツとしない重々しい流れから、また、営業収益増大につながる格別のイベント情報もないため、「変わらない」とした。		
タクシー運転手		良くなる理由がない。		
ドライブイン		天気によって左右されなければ変わらない。		
レジャー施設		大きな県北地域での要因が見当たらない。		
ゴルフ場		県北市町村の人口減少に伴って、街の店舗の空が目立つ。また、店舗が増えてはいない。		
ゴルフ場		予約状況が4～6月で+3ポイント位で動いている。		
ゴルフ場		現状と変わりなく推移することと思われる。		
ボウリング場		新年度になり、来店客数の増加が見込めるものの、新規固定客の増加までは見込めない。例年、GW等のイベントはあるが、一過性の繁忙期であり、景気の浮揚は感じられないと思われる。		
写真店		昨年もそうだったため。		
住宅販売会社		決算期を迎える企業が多い時期となるが、あまり変わらないだろう。		
企業		水産業関係者	変化に繋がる事案がない。	
		製造業（電気機械器具）	現在の仕事が3月末でおおよそ終了してしまうため、この先は反動減が起きると思われる。仕事が減った場合は、利益を確保するため原価低減を推し進めることとなる。	
		製造業（食料品）	特に変化はないと思う。ただし、季節の変化がありよく分からない。	
		製造業（化学工業）	特段の要因は見当たらないが、アメリカやヨーロッパの政治状況が悪くなり、円高に振れるようなことがあると景気は落ち込むと思う。	
		製造業（輸送用機械器具）	環境変化に大きな動きはないと想定される。	
		製造業（精密機器）	見通しは変わらないので横ばいです。	
		建設業	お客様や取引先から、先行き明るいという話は聞こえてこない。	
		金融業	企業城下町であり、日立製作所及び関連企業への繁栄に左右されることから変化はないと思われます。	
	情報通信業（情報サービス業）	大きな変化は感じられないので、しばらくこの状態が続くと思います。		
	運輸附帯サービス業	当社の関連業界は期初めの伸びは希薄なので変わらないと思う。		
雇用	求人広告	良くも悪くも大きな変化はないように思う。		
	公共職業安定所	求人数が増加していることから、やや良くなっているとしたいところであるが、海外経済の不確実性など不安要素もあることから、変わらないとした。		
	学校就業関係者	入学者数が増えたが、景気との関連はわからない。		

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	先行きがはっきりしない。仕事の量が少ない。
		小売業（酒類）	最近特に少子高齢化、人口流出などにより商売に影響していると感じている。
		観光型ホテル	北茨城市の観光として一番強いあんこうが終了してしまうため、客数が減るので。
		タクシー運転手	市内の人口が流出して、景気が落ち込むのではないかと思います。
	企業	製造業（食料品）	茨城県においては中小企業の多くが東電補償金を得て収益を維持してきた。今後補償期間が終了した後の損害改善には相応の時間が必要であろう。
製造業（電気機械器具）		2017年度の作業量が前年比で大幅に減少中。	
製造業（電気機械器具）		前年と比べ、受注金額の落ち込みが大きい見込みです。	
製造業（一般機械器具）		官公庁向けの年度内納入の案件が落ち着き、作業量の減少が見込まれる。	
	不動産業	時期的にも、一服感が出てしまう。	
悪	家計	商店街代表者	大手量販店の閉店、地元中小零細小売店・飲食店の閉店・廃業が続いていることから、買い控えや、他地域への消費者流出に歯止めがかからないと考えられる。

(2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	割烹料理店	そう願いたい…。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	若干ですが、仕事量が増えているような感じがしています。
		百貨店	3か月先の6月は夏物クリアランスや中元商戦等の需要が見込まれ、景気はやや良くなると思われる。
		スーパー	ここ半年で4社と新規契約し出店が決まったので、新たな集客、相乗効果に期待している。
		コンビニエンスストア	高齢者は商品価格よりも、質を重視する傾向が強くなり、客単価が高い。また、女性の方が、男性に比べ話題商品や趣味に関する商品の購入額が高く、品揃えがマッチすれば売上げが可能と考えられる。
		小売業	3月26日から国内線が1日5往復から1日6往復に増える。このため、搭乗者・乗場者が増える見込みであり、それに伴い空港ビル内のテナントの売上げも伸びるものと予想している。
		タクシー会社	引き続き、円安株高傾向にあるので、景気が刺激されると考えられる。
		タクシー会社	今後も増加傾向が見られると思われる。法人のお客様ご利用に加えて一般のお客様ご利用が伸びてきている。また、タクシー利用での旅行客も増加傾向にあり、予約等の件数を見ると昨年より増加している。
		ドライブイン	これから近隣が、花の見頃を迎えたり、イベントなどもあるので、景気上昇を願うばかりです。
		レジャー施設	例年になく、これからの3か月は「茨城」を意識する・知名度があがる話題が多く、期待でき注目を得る期待から、良くなる傾向と考える。よい素材とは、①NHK朝ドラ（茨城の山里が舞台） ②稀勢の里（新横綱として注目・優勝なら倍増） ③圏央道県内開通による景気 ④他
		ゴルフ場	例年通りではありますが、春先からは予約数に伸びが見られています。3月の来場者数についても前年対比で増加見込み。
		ゲームセンター	ポケモン人気はやや復活しており、ぬいぐるみの売上げが上昇しています。コア景品でも、けものフレンズや年末に新作があるガルパンなど、客単価の高い景品にある程度期待がもてます。
		理・美容店	暖かくなってきて、カラーの来客やカットする方が増えると思う。期待したい。
		ペット美容室	これからの暖かくなる時期から仕事の回転率がよくなると思います。
建築設計事務所	過ごしやすい季節となり景気も動く傾向と思える。		
やや良く	企業	農業関係者	お彼岸等もあり直売所での花木類や青野菜等の出荷もあり、収入は増える。また、資材等の供給も多く景気はやや良くなると思う。
		製造業（窯業・土石製品）	4月以降にやや大きな工事の受注が来そう。
		製造業（金属製品）	先々の仕事が見え始めている。仕事が全体に行き渡り、単価も上向いてくると予想される。
		製造業（精密機械器具）	これまで低調であった西日本の市場が活性化しています。ただ、大阪は良いが名古屋は低調など、地域よってのまだら模様があります。
		サービス業（コンサルタント業）	県南地区を中心とした開発が増えていくと思われる。
雇用	公共職業安定所	3か月先の状況は、好調4%、やや好調9%、普通51%、全体で64%を占めている。	

変 わ ら な い	家計	商店街代表者	中心商店街といわれる地区は人通りも少なく大変厳しい状態が続いている。
		百貨店	慎重なお買物の仕方はリーマンショック、増税等の影響で一般的に浸透しているように感じる。まだまだこの様子は続くと考えます。
		スーパー	節約志向は継続されるものの、各種イベントごとに合わせたメリハリのある消費が進むと思う。ネット利用の購買が便利で、さらに利用されると思うが、一方では宅配業者が大変で話題になっている。配送料の値上げや時間帯制限などにより、実店舗利用のチャンスも多少増加。
		スーパー	客数・売上げが前年並みで推移すると思われる。
		スーパー	先行きに不安を感じている人が多く、消費に控えめな人が多い。
		自動車販売店	当面はエコカー減税や補助金等の施策により変化がないと思われます。
		農産物直売所	イベントやレストランの予約が平年並の予約となっている。
		楽器販売	あまり先にも期待感が持てない。
		レストラン	ホテル申込み状況もほぼ横這いである。
		レストラン	良くなる要因がない。予約数、客単価アップも見られない。
		都市型ホテル	例年と変化なし。
		観光型ホテル	昨年と比べて先行予約にあまり大きな変化はない。
		旅行代理店	米国やヨーロッパへの旅行客は戻りつつあるが、アジア（中国、韓国）との政治関係が良くなく、旅行業界にも影響している。
		旅行会社	ツアーのお客様の申込みが少ない。
		タクシー運転手	このところ客単価は減少傾向にあるが客数の部分でカバーしている。3か月先もこの傾向は続くと思われるので、全体的に景気は変わらないと思う。
	観光名所	ご贈答用の商品を取り扱っているが、企業からの注文が減ってきているので、どこの企業も予算が厳しくなっていると感じ、経済全体が悪くなっていくことがあっても良くなる要素が今の段階にはありません。どこも人件費が膨らみ、それに売上げが追い付いていないのが現状かと思えます。	
	スーパー銭湯	今年のGWは昨年より暦の並びがよいのでご期待しているところですが、不況感がただようなか安近短のレジャーに期待、各地の各イベントにより集客が大きくはかられて行くことに期待するものです。	
	レジャー施設	新規契約の問合せはあまりない。	
	住宅販売会社	各企業の決算報告次第だが、あまり大きな動きはないと思う。	
	企業	製造業（食料品）	これ以上の受注数悪化はない、と思いたい。
製造業（食料品）		もしくは悪化。消費の伸びがない。	
製造業（印刷・同関連業）		変わらないというより分からないのが回答としたい。理由は受注件数が増えているのが一時的なものなのかまだ判断できていない。	
製造業（一般機械器具）		今後も元気が出ないのでは。	
建設業		先行き見込めず現状を維持した動きと推察する。	
運輸業（道路貨物運送業）		貨物が活発に動く様子が見られない。	
金融業		新年度をまたぐ時期に差し掛かり、個人消費の伸びを期待しつつも、今後3か月先の売上高は全体的に横ばいの見通しから、大きな変化なく推移するものと思われる。	
情報通信業（情報サービス業）		企業の収益環境は好転していると報じられており、投資等の活性化に期待するが、現状における地場市場や顧客様子では、盛り上がるまでに時間を要すると感じている。3か月先の景気は、今と変わらないのではないかと。	
雇用	人材派遣業	この先、大きな受注予定もなく、安定している。	
	求人広告	良い話を聞かない。	
	学校就業関係者	求人情報の中の大学生給与単価が、安定している。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	改善される与件が見当たらないうえに、海外の政治不安定等から経済も冷え込んでくるのでは。
		コンビニエンスストア	昨年は暖冬からの夏を迎える中、今年は例年より体感が寒い流れです。
		都市型ホテル	回復することを願ってはいるが、現在の予約状況を見ると更に悪化すると思われる。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	今後、資材等の値上げが予想されているが、その分を販売価格に転嫁することが困難である。
		不動産業	例年、繁忙期を過ぎると、仲介件数、売上金額が落ち着く。賃料が低下している。
		サービス業（広告業）	春から夏にかけては、毎年思ったほど商品が売れず（住宅・車・他）、広告宣伝の予算配分が、この時期は減少傾向にある。
雇用	求人開拓員	企業関係をここ3か月見ますと、登録（求人件数・求人人数）も減少傾向にある。雇用関係は、景気に左右されやすい。大手企業を除き中小企業は、ベースアップなど先行きが不安定です。依然として国内消費は伸び悩んでいます。懐の紐が固いように見えます。	
悪	-	-	-

(3) 鹿行地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	製造業（食料品）	受注量が伸びている傾向がある。
		農産物直売所	メロンを買いに来るお客様が多くなる。
やや良くなっている	家計	洋食食堂	大型の公共事業が予定されており、数年先まで人の流れや動きが期待できそうと思う。
		ドライブイン	圏央道の開通により、埼玉県、群馬県、東京都西部からも移動がスムーズになり茨城県の観光がしやすくなる。
		理・美容店	付加価値の高い物には予算を立てる傾向になってきていると感じます。
		小売業	大企業が改善しているようなので、その事が中小に及びそうなので。
		タクシー会社	売上げが前年と比較して微増だった。
		住宅販売会社	決算・株主総会を迎え、多少は良い方向に行くと思われる。
		スーパー	お花見や春休み、決算セール、ゴールデンウィーク等で集客が見込める。
企業	製造業（電気機械器具）	新規案件が立ち上がる予定であり、売上げ増が見込める。	
雇用	人材派遣業	派遣業からは受注がかなり旺盛にあり、派遣スタッフが不足している。特に一般的な事務業務を出来る人の不足もみられる。有効求人倍率も鹿行地域は1.3程度であり優秀な人材は完全に売り手市場。各社共人で不足状態にあり、中途採用も思うように進んでいない様子。	
変わらない	家計	商店街代表者	強調できる好転への材料も見当たらず、予断を許さない状況と言わざるを得ない。
		スーパー	お客様の高齢化等々でマイカーでご来店できる人が少なくなっているが、市町村が行っているデマンドタクシー等がこのまま順調にいけばどうにかなるかもしれない。
		スーパー	客単価や買上点数も横ばいである。
		コンビニエンスストア	現在は購買意欲が減ってきてはいるが、3か月後にどうなるかは、変わらないと思う。
		衣料品販売店	春から夏で陽気が良くなってきますが、来客数は変わらないように思います。
		家電販売店	閑散期である2月の状況も前月と比較して前年比が若干向上している。3月も上向きな傾向であるため、同等程度の見通しができる。
		小売業（菓子類）	特に大きく変化するとは思わない。
		小売業（食品）	量販店も、直売所（道の駅など）も、お客様の財布の紐は固いようです。しかし、売上げは落ちてはいません。
		小売業（書店）	下げ止まる気配がない。
		和食レストラン	国際情勢不安定は今後も当面続くと思われ、景気好転は3か月では難しいと考えます。
		日本料理店	春の行楽シーズンに入り、お客様の利用が増えると思うが、景気に変化がみられるとは思えない。
		観光型ホテル	3か月後の予約状況などを見ても例年と変わらないから。
		タクシー運転手	特別な動きがない限り変わらないと思います。
		タクシー運転手	良くなるとは思えません。
		タクシー運転手	何も変わらないと思うし、期待はしていない。
		ゴルフ場	天気に左右される傾向がある。雨が少なければ増加すると思うが、まだ分からない。
		レジャー施設	変化すると思われる事由が見当たらない。
		理・美容店	まだ景気の良い人、悪い人の差が見られます。全体的には変化なしかなと思われま
		住宅販売会社	変わる要因がない。
		企業	企業
製造業（食料品）	中小企業のお客様であり、中小企業の給料が上がり、可処分所得が増えてこないと上昇してこない。		
製造業（食料品）	原料状況が潤沢にて当面現状維持と思われる。		
製造業（食料品）	原料高騰が3か月先も続くと思う。		
製造業（金属製品）	販売力が変わらないので、上昇ムードは望めないかも…。		
建設業	新年度を迎え、発注量が増える事に期待しています。		
建設業	やはり、地元工務店は仕事を受注できない。リフォームの仕事をとるためにOB客を回れば仕事がとれると思うのですが、あまりぱっとしないです。		
運輸業（道路貨物運送業）	既存の荷主での対応が細くなってきている。新規の貨物が増えているわけではない。		

変わらない	企業	金融業	建設業者等一部の企業では、受注増加が見受けられるものの、全体的には景気の回復の兆しは見られず、今後3か月先の景気についても変わらないと思われる。
		保険業	個人、商店にも格差が出てきている。
		不動産業	企業、コンビニートの会社が年に一度の定期修理検査があるため、建設人員がだいぶ多くなる。ホテル、飲食、居酒屋さんは一時的に忙しくなるのではないかと。いろいろなもの4月～6月ごろにかけて値上げラッシュのようですので大変だと思う。
		内装工事業	目に見える物件も乏しいし、更に人口減で拍車がかかり新居も増えそうにもない。それに、家を建てられる人は収入などでローンを組めるものは限られている。
		サービス業	海外の景気動向によって左右される局面はあると思われるが、当面は現状を維持しながら推移していくものと推察される。
		火力発電所	中長期計画において出荷量に変動がない。
	雇用	公共職業安定所	特定の業種（建設分野、医療、福祉等）での人手不足の状況に変化はなく、他の業種についても、人手が集まらない状況が続いている。今後も求職者の減少による人手不足が継続するものと思われる。
		学校就職関係者	特に目新しい材料がない。（求人以外だけでは判断できない）
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	昨年あった定期修理が本年は規模が縮小となり、県外からの流れが期待できない。
		小売業（薬品店）	春以降になっても、今の経済事情は変わらないと思う。
		割烹料理店	特に宴会の予約が入る時期ではなく、それ以外の客足が伸びる要素がない。
		レジャー施設	近年、客数の落ち込みがひどく、客単価を上げるサービスの提供等を行っているが、なかなか成果につながらない。
		クリーニング店	卒業式、入学式、衣替えも終わり、一段落してしまう。
	雇用	民間職業紹介業	当地域においての現状は変わらないと思う。
		求人開拓員	今後もこのような人手不足が続けば、仕事の受注はあるが、コストばかりかさんでしまい、利益率の減少に繋がる傾向にあるので、景気はやや悪くなると思う。
悪	-	-	-

(4) 県南地域 【先行き】

(-：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	タクシー運転手	東京オリンピックまでは徐々に良くなっていくと思われる。
やや良くなっている	家計	専門スーパー	流入人口の増加と、近隣への異業種出店により、客数が増加することに期待致します。
		和食食堂	少しずつ客数が増えている。（ニューカマー）
		日本料理店	まだまだお客様は増えると思います。
		都市型ホテル	予約状況からみると、宿泊やレストランにおいては、ほぼ変化が見られないが、宴会は多少客単価が上がってきている。
		タクシー運転手	最近、薬品会社の仕事が増え、長距離のお客様の利用がある。
		レジャー施設	小売店の新規開店や改装開店などの明るい動きがみられる。
	企業	製造業（飲料）	季節的なことになってしまうが、暖かくなり、飲料は売れると思う。
		製造業（印刷業）	役所及び各企業の人事異動により、新しい案件がでてきている可能性を感じる。
		建設業	取引先の関係者など、皆さん笑顔がたえない。契約も増え、先行に明るい兆しが見えている、との事です。
	雇用	人材派遣業	IOTの半導体が伸びているので、まだ良い状況は続くと考えられる。
変わらない	家計	求人開拓員	就職面接会も求職者がますます減っているのに求人企業は参加希望が増えている。
		スーパー	今後も変わらないと思う。
		百貨店、総合スーパー	お客様の声、地域と件等考えても現状の景気回復には時間がかかる。
		スーパー	昨年6月は自店も改装し、売上げが上がったが、工事日を引くと予算は伸びなかった。今の伸び率からすると良くなる理由がでてこない。
		コンビニエンスストア	特に、大きな変化があるとは思えない。
		家電販売店	価格で選ぶお客様が多い。
		小売業（食品・酒類）	良くも悪くも、何も変わらないと思う。
		小売業（生花店）	今後も、購買客の大手商業施設への分散が続くものとみられる。
		和食食堂	国外の情勢が目まぐるしく変化し、様子を見る人が多いのではないかと。
		洋食食堂	特記事項がありません。
寿司店	少し悪くなっているかもしれないが、良くなるとは思えない。		

変わらない	家計	旅行代理店	シーズンの事はあって、多少お客様は増えると思うが景気が良くなっていくようには思えない。
		タクシー運転手	特に何も変わった様子がない。
		タクシー運転手	事業所及び商店の増加が見込めない。個人所得の増加が見えない。
		タクシー会社	良くも悪くもなっていないと感じます。
		サービスエリア	個人消費の傾向にそれほど変化はなく、今後3か月間において特に影響のある事象も見当たらないが、今年の2月26日に茨城県区間の圏央道が全通し、今後のお客様の動向に注視していきたい。景気動向については、とりあえず変化なしと判断した。
		ゴルフ場	予約状況などは、平年並みで推移している。季節が良くなっても、お客様の大きな変動はない。
		ゴルフ場	我々の業種において、3か月後も現在に比べて悪い状況や情報は見当たらない。
		工場見学案内	2016年10-12月、瞬間的に団体客増、売上げ増となり、景気がやや良くなっていると回答したが、左記も月別バラツキが大きいので、2017年1-3月の景気は変わらないと回答し、実際にはむしろ状況は悪化し、3月も月上旬時点で厳しい状態が続いている。実質賃金が横ばいで消費拡大の期待薄とのマスコミの報道等も考慮すると、3か月後も大きな景気改善は望み薄で変わらないと判断した。
		ボウリング場	春闘に明るい見通しが感じられますが、今までの流れと相殺されるのではないだろうか。ペースアップで週末来場客増に期待する。
		理・美容店	時期的に忙しくはなると思うが、景気的には変わらないと重う。
	住宅販売会社	競争激化の状況はしばらく続くと思われる。	
	企業	農業関係者	今年度は米・野菜ともに高値が続いているため、お客様の買控え傾向が一層強まっている。この傾向は、しばらく続く見込み。
		製造業（食料品）	これから先も景気の良くなるような様子は見当たらない。
		製造業（食料品）	本来なら気候が温暖になり行事も多くなる時期で、売上げも伸びるはずですが、そのような動きが感じられない。
		製造業（家具・装備品）	TV、新聞等を毎日見ておりますが、一部の業界だけのような気がします。
		製造業（非鉄金属）	トランプ大統領の政策によっては、大きな動きがあるかもしれないが、現状ではあまり変わらないと予想。
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当たらない。
		建設業	6月は官公庁関係の工事がそれほどでてこないで、仕事量が少なめなのだが、この調子で民間工事がでてくれば、順調に仕事をこなしていけると思う。よって、景気は今の状態と変わらないと思う。
		運輸業（倉庫業）	保管貨物の荷動きが落ち着いてくると思われる。
金融業		不動産取引に若干の動きは見られるものの、明るい話題は聞こえてこない。土木工事、建設業者の業界については、一部の業者に公共工事の需要はあるが、全体的に変化はない。経済効果に結びつくようなプロジェクトはほとんどないため、引き続き現状程度で推移していくものと思われる。	
雇用	学校就職関係者	景気動向に関わる大きな変化は見込まれないため。	
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	人口減による売上げ低下の懸念が大きい。
		都市型ホテル	宿泊部門では、中国からのインバウンドが、原発の風評発信での影響により、減少が見られ、その影響もあり、日本国内での景気の減少も見られると予測する。
		理・美容店	日本にいっぱい問題がある。
		住宅設計販売	4月以降の不動産の動きが鈍くなる傾向が強い。
	企業	農業関係者	JAとしての事業利用で感じます。費用をかけたくないのでも今まで使用していた生産資材の減少が目立って来ました。
		製造業（窯業・土石製品）	公共工事に活気が見られない。
		製造業（窯業・土石製品）	現状では良くなる材料が見つからない。
		建設業	少しずつ減少する事が予想される。しかし、他の市場開拓に動き出しているため、売上げが減少しないように努力している。
	雇用	不動産業	不動産仲介業界の特性上、4月以降は閑散期となる。
		求人広告	今年は、消極的な企業が多いように見られる。
悪	家計	公共職業安定所	正確な情報ではないが、4月・5月において、小規模ではあるが、事業所・店舗の閉鎖があるとの情報を得た。
		小売業（米穀）	仕入れ価格が、益々厳しくなってくると予想します。現状ですと、販売価格にその分をのせられないです。我々の業種ですが…。

(5) 県西地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	ドライブイン	圏央道の延伸による人・物の流れがこのまま定着してくれれば良くなると思われ ます。期待しています。懸念材料としては、ガソリン価格が上昇傾向にあること です。
やや良くなっている	家計	専門スーパー	生活用品の動向に変化はあまりないが、趣味や健康用品の需要が伸びている。
		飲食業	自動車など、業績の良い企業のベースアップが高ければ。
		タクシー運転手	仕事量の増加がある。
		ドライブイン	圏央道常総IC開通に伴い交通量が増加すると考えている。
		ゴルフ場	昨年、一昨年以上に予約状況が良い。
		理・美容店	圏央道の開通によって期待もてる事を願っている。インターチェンジ周辺の開発 など。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	中国の加工メーカーとの仕事の取り合いが、私たち石材加工業界の現在の状況で すが、円安になったり、中国の石材加工業界の置かれている「仕事が3Kである」「中 国の内陸部まで稼げる企業が進出している」「熟練工がもう年だとか」「仕事が雑 になってきている」という中国通が多いので、勝機はないとは言えません。
	雇用	人材派遣業	取引先から、忙しくなるという話があります。
		求人広告	新店オープンに伴う採用が多くなったと感じる。昨年末に店を閉める、倒産などネ ガティブな要素から好転していると感じている。
	変わらない	家計	スーパー
コンビニエンスストア			周辺の環境に変化が見られない。
自動車販売店			ここ数か月間の新車販売台数が前年と変わらない。
農産物直売所			当面、良くなる要因、悪くなる要因が見当たらない。
和食食堂			今のところ、変動の要因が見つからない。
和食食堂			材料費の相場高もあり、客数は変わらないが、予約以外の客が来ないということも あり、変わらないと思う。
和食レストラン			鳥インフルエンザなどがあり、食材の原材料も高騰しており、全体的には良くな らず、3か月先もこの傾向は続くと思われるので、変わらないと思います。
都市型ホテル			特に代わり映えしないと思われます。
旅行会社			良くなるような要素が全くない。
ゴルフ場			予約の状況にて判断。
ゲームセンター			娯楽施設はお金の使い道として最優先ではないため、生活必需品等の高騰が続く なか、良くなると思えない。
住宅販売会社		これから年度末に向けて株価は上がっていくだろうが、一時的なものだと思われ る。よって、3か月先もあまり変わらないと思う。	
企業		農業関係者	3か月では変わらないと思う。ただ、野菜の売れ方次第では、当JA管内としての景気 は上向きになるのかと考えられる。
		製造業（食料品）	得意先から聞いている年間予想売上高が、例年並か例年を若干上回る程度の売上げ 予想しかなく、小口の得意先でも例年を若干下回る取引額が続いている。
		製造業（印刷・同関連業）	アメリカのトランプ大統領誕生はじめ、世の中「まさか！まさか！」が続いている が、今のところは、アメリカファーストのもと、インフラ整備で日本の企業も恩恵 を受けるようで株高も上昇したが、結果はどうなるのか。政治も経済も大変変化の 激しい時代こそ、しっかり足元を見つめていきたい。
		製造業（印刷・同関連業）	良くなる要素が感じられない。つくば西武の閉店も、大型店時代の終わりネット ト、安価志向の表れと思う。それが、現在の地方経済の現状と思う。アベノミクス ＝好景気が地方には幻であることを一番良く示していると思う。最終消費志向が上 昇（意識が上向き）にならない好景気などありえない。
		製造業（化学工業）	市場で需要増の具体情報が特にならない。
		製造業（窯業・土石製品）	悪くなっては困るが、良くなる要素も現状見出せない。
		製造業（一般機械器具）	先が見通せない。
		製造業（電気機械器具）	長期的は受注変動の把握は依然難しい状況にあるが、現在の状況を考慮すると、今 月の状況が継続すると思われる。
		金融業	代表者等へのヒアリングでは、今後の業績見通しは変わらないと答える方が多く、 実際に今後の受注状況も昨年並みに推移すると回答する企業が多かった。
		雇用	公共職業安定所
学校就職関係者			特段、良くも悪くもないと思われる。
求人開拓員			今現在仕事に就いている方々の仕事が無くなるとか少なくなるといった感じは見受 けられず、失業者も少なくなるのではないかと思う。

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	衣類、寝具、その他、とても大変。お客様の買い方が細かい。
		商店街代表者	財布の紐が固い。チラシやDM、いろいろ手を尽くしているが、売上げは前年比同じか、いくらか減になっている。
		コンビニエンスストア	環境は厳しく、競合他社の出店も多く、改善する見込みはないと思われます。
		家電販売店	現状を変化できるようなことなし。
		旅行代理店	暖かくなると、お金の回りが良くなると思うが、今年から厳しくなるように思います。旅行参加者もほとんどなくて、観光バスの業務を止めた業者が出てきてます。生き残りをかけて、営業活動をしっかり進めたいと思います。
		レジャー施設	現状の景気動向をみると起爆剤がないかぎり良くなるとは思えない。仕入れ先などの商品の値上げが発生している。
悪くなっている	企業	農業関係者	全てにおいて、マイナス金利政策が大きく影響していて、総体的に数字が上がらない状況。
		製造業（印刷・同関連業）	来年度の入札が一段落した。結果は、前年よりさらに単価が下がっている。原価を割っているのではないかと思う。
		製造業（金属製品）	発注者側の“様子見”を感じる。発注に慎重である。
		建設業	見積りの依頼が少ない。公共工事が終了するなか、民間や個人からの見積り依頼が少ないのは、同業者からも聞こえてきています。これから、3か月先あたりは良くないと思います。
悪くなっている	家計	スーパー	弊社を例に挙げれば、昇給もできない賞与も出せないのが現状。つまり、収入は同じ、対してガソリン・電気・ガス等の公共的な支出の値上げが報じられている。このようなことが、たとえわずかと理解してもお客様の不安心理をあと、結果、財布の引き締めにつながる。お客様の不安心理をまともに受けるのが食品スーパーだと思います。3か月後と問われれば上記のような答えになりました。
		衣料品販売店	学生物の需要が減る。
		製茶販売	悪循環。良くなる要素が見つからない。
		タクシー会社	身近でも景気回復には程遠い状況であり、タクシー利用客が増えてくることは望めない。また、乗務員不足の影響もあり、營收減になって悪くなる傾向にある。
	企業	タクシー運転手	日々の営業回数が減ってきているので、収入増は望めない。営業マンのタクシー利用度が少ない状況であるので期待できない。
		クリーニング店	年度替わりになるが、さほど景気が上向く感じがみられない。
		製造業（食料品）	良くなる要素がない。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	価格に対する消費者の意識が強まっており、そのことから情報の取り込み方が高度になってきているように思う。年賀状の減少、恵方巻きの沈静化など、慣習や雰囲気流されず、実利を求める消費に向かっているように感じる。
	スーパー	60～70歳くらいの男性の客が多くなったような気がする。
	衣料品販売店	売上げは少ないが、高い商品が出ている。
	小売業（弁当・惣菜店）	求人を出しても反応が悪い。売上げは好調と言えるのだがスタッフが足りない。
	小売業（時計）	米国の状況により変わるとは思いますが、全体的には良い方向へいっていると思われる。（2～3か月後変化があるような気がします。）
	レストラン	良くなることを祈ります。
	スナック	毎回同じ事なんですけど、エコカーに買い替える人、走ってる台数が多いと思います。
	中国料理店	会社の移転、転勤などで地元から出ていく方が多いようです。
	食堂	ホームセンターに行けば分かりますが、今までは単価500円のものが値上げしても一向に気にせず買っている。ボーナスを当てにしているから、金銭感覚が緩んでいるようです。
	観光型ホテル	パートやアルバイトの求人が昨年から集まりにくくなっている。サービス業は人気はなくなってきているようである。
	タクシー運転手	飲食店からの需要が減っている。
	タクシー運転手	インターネット等の普及により、通信販売が増え、大手の電気店などが撤退しているのが現状。物を売る商売がこのままでは衰退していってしまうのではと危惧されます。
	タクシー運転手	最近、当方の営業地区にビジネスホテルが建築されており、もう少しでオープンできそうだ。数年前からを振り返ってみると、随分ビジネスホテルが増えている。ホテルが増えているということは、ビジネス客の需要があるからで、タクシーにとっても良い影響が出て良いはずだが、売上げアップには結びついている感じはない。売り込み方が悪いのか、そこら辺のことは、当方の立場での研究とやる気が問われるところだ。
	ゴルフ場	催し物の多くなった気がする。相撲、新体操、平成31年の国体で動きが出ている。
	ゴルフ場	国家予算の年度内承認の動きと、トランプ現象の影響など、注視することが肝要。金融機関の29年GDP予測。
住宅販売会社	大統領就任により何かしら変化が起きるとは思われたが、日常の景況感にはあまり影響がなかった。	
企業	林業関係者	林業関係は無理しながら低コスト化に挑まざるを得ない。
	製造業（食料品）	競合他社（水戸地区では東光食品（納豆事業停止）、関東エリアでは大山豆腐（民事再生、納豆事業撤退））の事業停止が相次いでいる。設備更新時期を迎えて、事業継続か停止・廃止かを考える事業者が今後も増加すると予想される。
	製造業（電気機械器具）	人材の確保が困難な状況である。新卒、中途、派遣すべてにイえることである。求人を出しても、応募がほとんどない状況である。新卒の就職活動が解禁となったが、学生の大手志向が強いため、当社のような中小企業は振り向いてもらえない。大手の採用活動が一段落した後が、我々のスタートである。
	製造業（食料品）	スーパーは安いものを売ろうとしている。
	製造業（化学工業）	金融機関の貸出利息は底をついたようだ。
	製造業（電気機械器具）	BCPの対策によるもので、県外より新取引先を考えた見積り依頼が数件ある。
	製造業（精密機器）	工作機械の受注が、少ないらしい。
	製造業（精密機器）	動いている様子はないので悪化と見た方が良いと思います。具体的な話はないので、来年に期待するしかないかも。良くて横ばいだと思います。
	運輸業	テレビ、新聞等の報道にもあるように、運送業界は深刻な人手不足に陥っている中で、貨物輸送依頼があっても輸送ができない状況です。
	金融業	人口流出が続いている。基幹企業の雇用確保の動きも鈍く、当面歯止め防止が困難であると思慮。市内飲食業者も閑散としており、後継者の確保も困難であることから肅々と廃業に向けた動向も見られる。先般開催された県北芸術祭は多くの観光客が訪れ、盛況であった。
不動産業	例年明けから年度末にかけて駆け込み需要があるが、今年は感じられない。	
雇用	求人開拓員	周辺で特に目立つのは、太陽光パネルの設置されている場所が非常に多く見受けられます。工業団地内でも長く空き地だった所にも設置が進んでいるのと、ゴルフ場を閉鎖して設置をしたり、山を切り開いてパネルを設置している。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	水戸市内に関してですが、数件の大型公共工事が始まり、若干ですが、それに関する仕事が増えてきているようです。
	商店街代表者	商品を購入するにあたり、商店街や各個店へ行って買い物をしていたが、最近ではTVでも話題になっている通販、ネット、カタログ（火事になったアスクル等）で購入して宅配で受け取るという購入方法が増えております。当店にも、お客様が来店しなくなった。ゴム印1個やシチハタネーム1本でも笠原の県庁近くの事業所や旧内原町くらいまで「配達してくれ」「納入してくれ」と注文が入る、通販やネットは送料無料とか謳っているが、大体2000円以上が多く、少量では宅配料金が掛かる。大量購入は通販で、少量は配達している業者に発注するすみ分けしている。
	百貨店	景気の良い方と、一般の方とで二極化している感じがします。これも以前から同様ですが。
	スーパー	食品原料高騰が多い。特売を組むのが難しい。スタッフの人員確保が難しい。
	スーパー	コンビニの客数（駐車台数）が非常に増えていると思われる。
	スーパー	今まで、出店者の要望といえば賃料に関するものに限られたが、最近では従業員を紹介してくれなければ出店できないとか、閉店時間が遅くなる場合には対応できないとか、人の確保に関するものにも変わってきている。従業員を募集しても簡単には人が集まらず本当に人がいないことを痛感している。
	コンビニエンスストア	午前中の高齢者の客層と21時から23時までの客数増加と、0時から5時の間の客数減少。
	農産物直売所	野菜果実のバラ売り（1個売り）の動きが昔に比べ、良くなっており、余分な物は買わないように思われる。
	楽器販売	音楽をテーマにした映画やドラマは毎年のように目にするので、それらの効果はあるのですが、今年はここ数年に比べ本数が減少したとを感じる。またJASRACの問題が発生し、もしこの通りになれば、経営の根幹を揺るがすような事態にもなりかねず、大変危惧しております。
	レストラン	プレミアムフライデーがスタートしたが、一部の企業で自分達には関係ないという話を耳にしている。
	レストラン	特に良くなる要素も悪くなる要素も感じられない。
	割烹料理店	国、というよりも国民は勘違いをいつまでもするのかと思います。外国人観光客をどれほど受け入れ歓迎するのかと…。外国人から人気の理由はいわば（円）が弱く（外資）が強いから。安い（円）の国、日本では良い物が安く買えるから。それは日本の（円）がいかに弱いかという証拠だと思っています。「国民が国産を求める」これこそが国の景気だと思います。ドル、ユーロ、ウォンを日本に落とすのは（円）にとっては損。これが真実。
	観光型ホテル	FIT（海外からの個人のお客様）が増えつつある。
	旅行代理店	ガソリン代を含め燃油関連の費用が値上っている。燃油サーチャージ等が更に値上ると旅行参加を見送る傾向になるに困る。
	旅行会社	昨年末もボーナス支給がなく、苦しい年末年始でした。
	タクシー運転手	水戸地区の繁華街の客足も一時期もち直したかに思えたが、最近では若干低迷しているように感じる。色々なイベントを企画して頂いているが、もう少し周知徹底して欲しい。
	タクシー会社	一般のお客様が増加傾向にある中で、県内在住の方々の利用が伸びているように思える。
	ゴルフ場	冬期間の特別優待が終わると通常料金に戻るため、当社のプレー料金は高いと感じているお客様が多いようです。また、食堂部門の客単価が減少傾向を示しています。
	ゲームセンター	最近福祉関係の団体でのご利用が増えています。昔に比べ、筐体数が減り、車イスでも通れるスペースができていたのが、一つの要因と考えています。福祉関係の方々ともっと連携が取れば新たな客層として期待が持てると思っています。
	スーパー銭湯	最近、今まで頑張ってきた大手デパートが毎年のように閉店して行くことが報道されていて大変にさみしい思いがしています。水戸の旧市街も全盛期を知っている者にとっては残念ですが、泉町開発に期待しています。
レジャー施設	この時期は、契約更新の時期で、解約と新規契約の申し出が両方とも同じ件数ぐらいだったのに、今年は解約が非常に多いと思う。	
ペット美容室	旅行に出かける方が増えたような気がします。	
住宅販売会社	若年層の動きが活発になってきた。	
企業	製造業（食料品）	地域資源活用事業やその他の認定事業に取り組む会社が少しずつ増加し、これに伴い地域内連携の需要が増加しているように感じる。
	製造業（印刷・同関連業）	お客様との話でも、良い話が少なく、活気が感じられない。
	製造業（窯業・土石製品）	全体的に石材の需要は低迷している。中国企業からの原石の引き合いが増えてきている。
	製造業（一般機械器具）	ゴルフ場は毎日沢山の客が入っているようです。
	製造業（精密機械器具）	某企業から、大物装置の作業の引き合いがあります。地震などのリスク回避のため、事業所の分散を検討しているようです。また、聞くところによるとこの地域は極端な人手不足になっているそうです。
	建設業	生活感の動きと、それを感ぜない若者の動向の差異が拡大している。地方（茨城）に首都圏の経済情報を垂れ流してもその効果は如何か冷めてみている。二極化が拡大すればそれをまとめる側に多大な負担がのしかかり不安材料は目に余る。
	運輸業（道路貨物運送業）	長時間労働など、雇用環境により若年就業者の確保が難しい。
	金融業	郊外型大型量販店に対抗すべく、地元商店街においてはイベント等を積極的に開催し、集客向上に傾注しております。
	不動産業	ファミリー物件2LDK以上の物件の退去解約が増加傾向にあり、退去理由のほとんどが戸建て購入となっており、空室が目立つようになっている。
	雇用	公共職業安定所
学校就業関係者		エンジン01文化戦略会議in水戸の開催により多くの人々がイベントに参加した。また、夜学では市内のレストラン等で文化人と食事ができることから、チケットが完売したようです。全国規模のイベントの開催が起爆剤となり消費拡大に繋がることを期待します。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	最近、商店街の空き店舗に新規出店があった。今後も空き店舗の有効活用の切り口から、創業者とのマッチングにより地域活性化への道筋が少しでも描ければと思う。
	スーパー	春闘の賃上げ（ベースアップ）が鈍化した。大手でそれなので、中小企業は、ベースアップしても千円以上は望めず数百円レベルでのベアもしくは、ベースアップなしの企業が多数。
	スーパー	週末、特に土曜日は、レジャー施設もあるショッピングセンター等の利用率が上がっているように感じる。ワンストップショッピングで多くの種類の買い物が出来る所へお客様が集中しているように思われる。
	コンビニエンスストア	現金支払いから、電子マネーやクレジットカードによる決済が増加していると感じる。消費者が特典が付く店舗、サービスを意図して選択している。
	衣料品販売店	来店者の単価が低下しているように思います。単価アップが見込めないようなので、現状維持を希冀しています。
	家電販売店	学生向けの新生活セットは、最安価なセットよりも若干上のクラスをお選びになる傾向がある。したがって、景気が悪いということはないように思える。
	農産物直売所	メロン狩りの予約も昨年と変わらず連絡がきます。
	小売業（食品）	今月の入り同業者の倒産の知らせがあった。負債は調査中で、今後変動する可能性があるなど、多額の負債が見込まれるようだ。申告の時期に当たり自社としては昨年並の申告額で黒字であった。健康で一日一日働けたことが良かったと思う。
	和食レストラン	飲食店においては、外食日数は横ばいながら単価減少が続いている。これは例えば、食後のコーヒーやジュースは注文せず、自宅で済ますなど、節約を図っていると考えられます。
	洋食食堂	売上げは順調ですが、人材の確保が大きなテーマとなっています。
	日本料理店	ごく一部（大都市）だけが潤って、地方には回ってこないが、県の外国の方を呼び込む政策で、少しではあるが外国の方も来店している。
	海鮮料理店	毎回同じような意見ですが、やはり家族で外食する事は特別な事だと思いますが、当店のような商売は金額的にやや高くなるので、今は居酒屋ファミレス、回転ずし、ラーメン屋（チェーン店）ですませる方々がとても多いと思います。景気の良い所は、回りで感じません。
	タクシー運転手	今のところ特別な動きは見られません。
	タクシー運転手	繁盛している店はあるが、それはほんの一部である。
	タクシー運転手	何度も書くが、週末になると行列ができる外食店もあるし、看板を降ろす店もあり、夜など灯りが消えて淋しさを感じる。
	ドライブイン	圏央道の開通による経済効果がこれからの観光シーズンにどのように影響するか気になります。
ゴルフ場	圏央道開通になったが、地域から恩恵は望めそうもない。関東道（潮来～茨城空港）開通なら景気は良くなる。	
理・美容店	服飾費は抑え、飲食、レジャーに予算をまわす家庭が多いと感じます。※（冬用の服飾費は高いので。）	
クリーニング店	値段の値下げが進んでいる。安くしないとお客様が来店してくれない。	
企業	農業関係者	今年からプレミアムフライデーが始まったが、中小企業までに普及するには時間がかかるため、消費購買意欲を伴うような活動が身近では見られません。今後、茨城県を中心に普及活動をさらに広げてほしいと思います。
	製造業（食料品）	就業率も上がり、今までのような閉塞感はなくなり、明るくなる兆しは感じられる。
	製造業（食料品）	近海鯖の水揚げ量好調にて冷凍品の輸出が伸張しているが、その反面、日本産原料使用を謳った海外製品の輸入攻勢があり、販売競争激化に拍車を掛けている。
	製造業（電気機械器具）	どの業種も厳しい状況であるように思える。
	製造業（金属製品）	県内への販路が見込めない（上向）ので、今後も現状のままだと思う。長期的には、高齢者が多くなると、更に購買力は良くないと思う。
	建設業	4月には、新入社員の入社等があり、明るい話題が増えそうな気がします。
	建設業	太陽光の設置がかなり多く見られます。前の契約1KW当たり32円位の価格なのかな。安い土地を買って設置する会社が多く見られます。
	運輸業（道路貨物運送業）	スーパーでお米の棚を見てみると10kg入りから5kg、2kgに変化してきている。今、お年寄りも若い人もお米を食べる人は減ってきているのではないかと。お米を炊くこと自体が面倒なことなのかもしれない。
	金融業	国道124号線の拡張工事及び神栖警察署の開署が予定されており、近隣地域の景気改善につながればと期待している。
	保険業	努力しているが消費税8%支払いで残らない。努力したが所得税15.315%、地方税5%、計20.315%の税金は高い。以前の10%にと話す人がいる。
	内装工事業	毎回よく見かけるのですが、年金支給日の15日に、銀行及び郵便局に開店前から大勢の老人が並んでいた。お金で苦しんでいる老人が大勢いるのだと感じた。
火力発電所	業務量は増加していくが、利益が上がらない。	
雇用	民間職業紹介業	求職者の総体数が少ないので、企業求人などへの理解と支援を得て、年輩者や在日外国人（就労可能なビザ所得者）など幅広く求人情報の発信をしている。
	公共職業安定所	一部の業種（小売業、食品製造業）で業績不振による事業閉鎖があった。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	稲敷インターが開通しているが、それほど変化がみられない。
	百貨店、総合スーパー	低価格の商品よりも価値ある高価格品の動向が良い。お客様からも安心安全を追求する商品が好調。イベントでは、お客様にも関心を持つように心掛けているが、売上げUPには繋がらない。
	スーパー	水産部門の落ち込みが激しい。魚類が少なく、スルメイカなどの入荷が減少している。
	スーパー	この2年間で改装5店舗、新店が2店舗、閉店が2店舗と動きがあったこの2年でした。
	コンビニエンスストア	個々人の価値観に応じた出費が顕著。消費も使う（使いたい）場所、もの、こと、には使うが、そうでない。
	農産物直売所	7年位調査していますが毎回同じような回答でよろしいのでしょうか。代わりたくても相手がいないので、このような回答でよろしければ続けさせていただきます。4月に人事異動がありますが変わった場合は連絡いたします。
	専門スーパー	中国人によるインバウンド効果がほとんどなくなりました。
	小売業（米穀）	外食、中食の伸びは凄いです。その分、家庭での食事が減っています。昨年秋の収穫時にいただいたお米（緑故米）が、中々消費出来ないようです。本当に、厳しいです。ふるさと納税謝礼品の影響も、かなりあると全国の米屋さんが言っています。
	和食食堂	来客数の減少を客単価を上げて補おうとうちの会社が考えている。良い方向に行けばよいが。また、店内禁煙になり、客単価がアルコール客の減少により下がってしまうと思われる。世の中先が見えにくい。
	都市型ホテル	中国インバウンドの首都圏状況は、価格が高いか安いのかの2極であり、中間層が減少している。3,000円位の価格なのか30,000円以上の高級志向なのかとなり、首都圏での溢れの受注も厳しい状況である。今後は、茨城県推奨のベトナムやインドネシアなど他国にアプローチが必要かと思われる。
	タクシー運転手	つくばの西武が2月末で撤退。
	タクシー運転手	夕飯を外食する人が増えたのか、18時半～19時半の飲食店は並んでいて入れないことも多いです。
	ゴルフ場	圏央道が開通したことにより都心の渋滞が緩和され、首都圏までの所要時間が短縮されることは集客につながるの期待したい。
	工場見学案内	2月は年間で最も見学者来場者が少ない月（売上げのない月）であるが、2017年2月はキャンペーン販促策を講じたこともあり、ショップ売上げの絶対金額はともかく、客単価が2016年2月と比較して大幅アップした。ただし、逆に1月は単価ダウンであった実態も踏まえ、月別バラツキの範疇との要素も拭い切れない状況である。
	ボウリング場	春闘でのベースアップ分が消費に廻れば良いのですが、大型消費増は期待出来ても日常消費増に繋がるか。繋がってほしい。
	レジャー施設	小売店の新規開店や改装開店などの明るい動きがみられる。
理・美容店	お客様のお子さんが減っている。安いところ、セルフカットなど安くすませるのだろう。小さいながらも景気は悪くなってるのだろう。	
住宅販売会社	隣県からのお客様をどれだけ取り込めるかで、勝負が決まりそう。	
企業	農業関係者	生産者大会等の出席が悪くなっている。会費3000円でも大会の参加、参画が悪くなっています。
	製造業（食料品）	特別な動きは見られません。
	製造業（食料品）	前年同月と比較して売上げが落ちている。
	製造業（家具・装備品）	私共の市は、お雛祭りを約1か月行います。今どこの町でも行うものですから、来客は以前より少なくなりました。私共は、観光協会に協力して、おもてなしをしておりますので、お客は良い方ですが（甘酒その他）、せっかくお客が来て本業の邪魔になってしまい悩んでいます。
	製造業（非鉄金属）	為替の影響か、原材料・燃料の値上がり、若干負担となってきた。
	建設業	近所の墓地（50墓所くらい）で、最近新規建立や通路柵を改修する墓所が多い。3か月間で6～7墓所あった。中国石材の値段が上昇傾向にもかかわらず、このように多いのは、景気が上向き傾向になってきたような気がする。
	建設業	特に良い話も聞かない。
	運輸業（倉庫業）	県内の圏央道が繋がったところにより、運送の利便性が増した。
	金融業	土浦まちかど蔵「大徳」・「野村」が国の登録有形文化財に登録され、観光ボランティアガイドによる観光案内を行っており、地域商店街の集客力アップを図っている。また、土浦市ご当地弁当「飯村牛のライスバーガー」「亀城弁当」「れんこんチリサンド」を開発し、かすみがうらマラソンランナーズビレッジで販売され、地域活性化に役立っている。
	不動産業	金融機関からの融資依頼の営業が活発。良い相手先にはほとんど貸したがっている模様。
雇用	人材派遣業	圏央道開通により、周辺に企業進出が見込まれ、今後に期待できる。
	公共職業安定所	求人数及び求職者数が対前年比減少傾向で推移している。景気が悪化しているのであれば、求人数は減少、求職者数は増加傾向に転じるのだが、28年4月から現在まで横ばいで推移している。
	学校就職関係者	今までだったら買い替え時期の走行距離・年式の車両を継続して乗っている人が多く、ライト切れなど整備不良の状態ですべて走っている車が多くなっていると感じる。
	求人开拓員	正社員の求人でもボーナスが少ない。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	子供(教育)、趣味、娯楽以外は、とても節約モードです。水害の影響がまだまだあり、いざという時のために、買い控えの傾向に見受けられる。
	商店街代表者	1か月入院した。テレビを見る時間が長く、普段それほど見ないCMに興味があった。スマホ、自動車、通販(健康食品)、学習塾が多かった。特に健康食品は各社競い合い、これからの高齢化社会を反映していると思った。
	スーパー	弊社の商圏にトライアルが昨年11月にオープンしました。通常でさえ信じられないような価格で販売していますが、ここに来てさらに安価なチラシが出てまいりました。業態が異なりますので到底真似などできませんが、世相を垣間見ているような気持ちであります。
	スーパー	価値(特に価格)に対する消費者の目は厳しくなってきた一方で、健康に関する商品の動きはいい。
	コンビニエンスストア	変化はないと感じます。
	コンビニエンスストア	圏央道の開通により、売上げが厳しくなっているエリアが見られます。
	製茶販売	前は今が「底」と思っていた人もいたと思うが、底の期間が長く続き、良くなる見込みがないのでさらにお客様の財布の紐は固くなったと思う。よって小さな商店は大打撃。生活するだけで苦しい。ふるさと納税とかお金の余ってる人たちが得する制度のように思う。
	和食食堂	良くも悪くも落ち着いて安定しているように感じられます。
	飲食業	どうしても、少子化が気になります。子供が増えることでも景気は活況すると思えます。
	都市型ホテル	卒業や入学等、行事の多い季節ではありますが、客足が多いのは、大型チェーン店ばかりです。(特に低価格なお店や、食べ放題のお店)
	旅行代理店	旅行代理店からの手配がほとんどありません。飲食店にお客様が少ないようです。年金額が減り、年金受給者の方が出費なしであれば、世の中の景気が悪くなるばかりですね。若い方は、親や祖父が買った自動車を貰って乗るが、自分からローンで買う事はできないらしい。また、免許も取らない若い人が増えているとの情報があります。自動車離れですかね。
	タクシー運転手	地域人口の減少。
	タクシー運転手	本社が市内にある工場が東京に移転する等、景気が回復していると思う。
	ドライブイン	大型車の交通量が増加している。
	ゴルフ場	県外からのお客様が増えている。(圏央道効果)
	商店街代表者	特徴的な動きはないが、良くなっていると思う。
住宅販売会社	圏央道開通で、県西地方の人や物流の動きがどうなるか気になる。	
企業	製造業(食料品)	電気・ガスの自由化に当たり、両陣営からの営業が活発になりつつある。また、他の営業(株・リゾートマンション・電話等)からの電話も以前にも増して多くなってきた。
	製造業(印刷・同関連業)	東日本大震災も3月11日を迎え6年が過ぎ去った。テレビで毎年特集番組をやるが、失礼ながら、あまり進んでない。かわいそうでインタビューを聞いて涙が出る。福島原発があるから、余計かも。政府も被災県ともっともって本音で話し合い、地元の方々の要望に添った予算を惜しまず、注ぎ込んでほしい。
	製造業(印刷・同関連業)	相変わらずの下向き傾向が、若年層に強い。一時的に努力しても成果が出ないことや、ネットを通じた経済活動に対抗するすべがないというような傾向、あきらめ、その日暮らした姿勢が相変わらず目立つ。半面、行政等の地元志向のなさが拍車を掛けている。景気ウオッチをするなら、自らの経済活動がネット等に依存し、地元軽視をしていないか良く調べられたい。
	製造業(窯業・土石製品)	「販売価格等の適正な競争は必要だろうが、過度の安売り競争は誰の利益にもならない」共通認識される。適正価格販売で事業継承を目指そうとする意識共有。
	製造業(窯業・土石製品)	我々の業界において、すべてとは言えませんが、他の業界にも言えます。倫理観を持って商売をしている人が、仕事、お金の恵まれない。その逆の倫理観を持ち合わせてなく、隙あらば必要以上の利益を取ろうと考えている人が、仕事もお金にもつながっていることが残念でなりません。正直者がバカを見ない社会が健全だと思うが、現実には矛盾があまりにも多すぎる感じがします。
	建設業	圏央道も開通で一段落した感がある。若い人がたくさん入ってくれば、活気があふれてくると思いますが、高齢化が心配です。
	金融業	小売業やサービス業等は個人消費の低迷が続き、業績低迷が続く。一方、土木建築業等では受注状況活発な企業が多く、今後もしばらくの間は好調な受注状況は続くと思われる。
	不動産業	業務用物件の需要が増加傾向。
	サービス業(コンサルタント業)	圏央道が開通しIC周辺では土地の造成が盛んに行われていますが、これらの効果ができるのはもう少し先になると思います。新4号国道沿いでも物流倉庫の建築が盛んに行われており、これらも使用開始になれば、雇用が新たに生まれるのではないかと思います。効果としてはやはりもう少し先になると思います。
	雇用	求人広告
学校就職関係者		人材を増やす企業数が増えているように思われた。